

令和6年度(2024年度)生涯学習関連事業評価一覧

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定			令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象 者	回 数	参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																		
1	講座・教室	教育的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	自然体験・自然観察会 自然体験・自然観察の機会を提供し、市民の自然を大切に する気持ちを育む。 本市の特長でもある豊かな 自然を活かし、市民を対象と した自然観察会を行う。	どなたでも	4	112 (ホテル: 43、秋: 13、 星空: 35、冬: 21)	共催	対面 実施	自然観察会を3回、星空 観望会を1回開催し、計112名が参加。アンケート結果からは、「とても楽しかった」「楽しかった」の回答割合と「次回も同様の会に参加したい」との回答割合がそれぞれほぼ100%となり、高い満足度を得ることができた。	等参加者数・利用者数・利用件数	110名	112名	A	110名	取組の継続	引き続き市民に身近な自然と触れ合う機会を提供する。	30	20	30	学習支援課
2	講座・教室	青少年育成・体験活動	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	出張体験講座 市内小学校に講師を派遣して、子どもたちに多様な体験型講座を実施する。	子ども	15回	943人	委託	対面 実施	予算編成時30回を予定していたが、契約時に実施可能回数である15回で委託契約。講座自体は申し込みのあった放課後子ども教室15団体で計画どおりに実施。参加者からは次年度も講座開催の要望多数あり。	用件参加者数・利用者数・利	15回	15回	A	15回	取組の継続	従来の実施手法であるNPO法人八王子生涯学習コーディネーター会への事業委託を引き続き実施しつつ、各講座講師と放課後子ども教室実施団体が直接連携し、各教室において講座開催の企画ができるよう支援を行う。	2,183	800	2,183	放課後児童支援課(NPO法人八王子生涯学習コーディネーター会)
3	講座・教室	子育て	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	赤ちゃんふれあい事業 八南助産師会によるいのちの講義や妊婦ジャネット等を使用した体験、妊婦や乳幼児親子と直接ふれあう体験をとおして、次代を担う思春期の中学生が、命の大切さや妊娠・出産に関する知識を学び、豊かな人間性を育む。 市内の中学校と地域の関連機関が連携して、中学生が乳幼児や妊婦とふれあう機会を提供し、命の大切さを再認識するとともに、自尊感情を育む。	子ども	37回	37校	委託	どちら も実施	昨年度は、流行性疾患の流行により妊婦や乳幼児親子の交流会での参加を見合わせ、オンラインで交流を実施していたが、令和6年度は交流会でのふれあい体験を再開した。	事業の再構築・充実・拡大等	すべての公立中学校(39校※第五中学校夜間学級含む)での実施	37校	A	すべての公立中学校(39校※第五中学校夜間学級含む)での実施	取組の継続	妊婦や乳幼児親子の安全・安心を確保したうえで、実会場でのふれあい体験を実施する。	3,848	3,514	3,848	子どものしあわせ課
4	イベント等	趣味的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	子ども体験塾「トイ・トイ オーケストラ」 子どもたちに、身近な場所で優れた文化や芸術を鑑賞する感動体験を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。 オーケストラに実際に鑑賞する機会の少ない子どもたちに、迫力ある生の演奏を体感する機会を提供し、音楽への興味と豊かな感性を育む。	親子・保護者	1回	1,426人	実行委員会	対面 実施	クラシック音楽を初めて楽しむ方でも親しみやすいように、誰もが知っているポピュラーな音楽を演奏したり、子どもたちが手拍子などで参加できる会場参加型のプログラムを実施した。	参加者の満足度	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合は98%であり、目標を達成した。	A	アンケートで5段階評価を行い、「大変良かった」または「良かった」の合計割合を、80%以上	取組の継続	プログラムの内容を検討し、体験機会のさらなる充実を図り、令和6年度の申込者数及び入場者数を維持しながら、より満足度の高い事業となるよう取り組む。	0	0	0	子どものしあわせ課
5	イベント等	教育的なもの	001	子どもたちが体験できる機会の充実	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	八王子浅川水辺の楽校 生きものの採集やボートでの川遊びなどの体験活動を通じて、環境教育の充実を図るとともに、環境を大切にする心と行動力を育てる。 ・みずフェスへの出展 ・環境学習の担い手育成 ・八王子浅川ガサガサ探検隊 ・水辺のかんきょう教室 ・浅川河川清掃＆野鳥観察 ・環境学習支援	どなたでも	3	451人	実行委員会	対面 実施	ウグイ・アユの放流について、事業効果が低いと判断し事業を廃止した。 各種取り組みについての参加者の満足度は、例年通りおおむね良好である。	等参加者数・利用者数・利用件数	参加者数500人	451人	A	参加者数500人	取組の継続	取り組みを拡充していく。イベント実施だけでなく、環境学習の担い手の育成にも積極的に取り組んでいく。	250	249	250	水環境整備課(八王子浅川水辺の楽校運営協議会)

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策	事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定			令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
							対象 者	回 数	参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO 施策名	No 基本施策																			
6	講座・教室	教養的なもの	002 子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子「宇宙の学校」 小学校低学年の子と親の絆を強め、地域が協力して子どもを育む仕組みづくりを行う。 宇宙に関連する様々な素材・身近な教材を活用し、子どもたちの心にある好奇心、冒険心、匠の心を育成する。 小学校2年生から3年生を対象に、実験工作に取り組むスクーリングと家庭学習を組み合わせた教育プログラムに基づき、子供たちの心に「好奇心」「冒険心」「匠の心」を育んでいくことを目的に宇宙教育を行う。また、事業は、市民や学生ボランティア等との協働により進めている。	子ども	8	698	実行委員会	対面実施	今年度も昨年度と同様に八王子学園八王子中学校・高等学校と東京工業高等専門学校の2会場で行い、それぞれの学校と連携しながら、各会場で前年度より参加者を5組増やして実施した。市民からは「実験・工作を通して理科が楽しく学べた。レポートも発表もとても良い経験になった」など前向きな声が寄せられた。	参加者の満足度	アンケート集計結果における満足度90%以上	アンケート集計結果における満足度90.3%	A	アンケート集計結果における満足度90%以上	取組の継続	ボランティアの高齢化等に伴うボランティア参加者の減少が見込まれるため、運営の方法の再検討も必要。	800	688	800	こども科学館 (宇宙の学校実行委員会)
			002 子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	青少年講座 子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な青少年を育成する。 子どもたちに社会体験、職業体験、伝統文化体験をはじめとする多様な体験学習の場を提供し、自発的・主体的な学習活動の基礎をつくる。	子ども	14	208	市単独	対面実施	3館合計14講座を開催し、208名が参加した。夏休み子ども向け講座を中心に、平均2倍超からの応募率講座が多かった。 また、鉛筆工講座では「水あめを丸める、色の混ぜ方、見本の鳥の作り方を実演、馬や昇り龍を作って見せた」ところ、参加者からは「ふだんできないたいけんができました」等の感想が聞かれた。 (参考: 令和5年度は19講座、284名参加)	参加者の満足度	満足度90%以上	98.7%	A	満足度90%以上	取組の継続	講座を実施し、子どもたちに多様な体験学習の場を提供していく。	347	236	347	学習支援課
8			#N/A		#N/A																		
9	講座・教室	教養的なもの	002 子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	夏休み子どもいちょう塾 大学コンソーシアム八王子加盟校の先生たちが、その大学・学部等の特色を活かして、子どもたちに夏休みの特別教室を開講する。	子ども	1回	参加者426人 (市立小学校61校、その他5校)	補助	対面実施	市内小学校4～6年生全児童にパンフレットを配布した。また、昨年度に引き続き、修了証を発行した。ワークショップを再開し、当日参加者に対応した。	普及・啓発等	参加者数350人以上	426人	A	参加者数350人以上	取組の継続	参加費の増額による参加者数の減少が予測される。午前中に2講座を実施するなど、新たな開催方法を試行し、今後の発展に繋げていく。	1,875	1,697	2,130	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・大学コンソーシアム八王子)
			#N/A		#N/A																		
10																							

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
11		青少年育成・体験活動	002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	No	基本施策	学校等への車いす等体験学習	高齢者や障害者への理解を深め、福祉のまちづくりを行う。	子ども	115	6,673人	補助	対面実施	車いす、高齢者疑似体験、アイマスク体験は教員に扱い方を事前にレクチャーし、道具の貸出を行った。点字体験、福祉講話は講師の派遣を行った。講師派遣は以前赴任時の学校で好評のため、現在赴任地でやりたいとの話で今回実施ということもあった。	数参加者数・利用者数・利用件	対応件数110件 参加者数 5,000人	対応件数115件 参加者数 6,673人	A	対応件数110件 参加者数5,000人	取組の継続	依頼件数は横ばい。車いす体験については依頼時期が重なることが多い。依頼者側に実施時期をずらしていただくことも多いため、事前の申請を呼びかける。	—	—	—	社会福祉協議会市民力支援課(福祉政策課)
			002	子どもたちに向けた各種講座・教室の充実	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	夏休み体験ボランティア活動	夏休み期間を利用して、若年層のボランティアへの参加を促し、福祉に対する理解を深めてもらう。 中学生から青年など若年層を対象に夏休み期間を利用して、高齢者施設・障害者施設・保育園等の協力のもと、ボランティア活動を体験することで、住民主体での福祉のまちづくりを行う。	若者	1	124人	補助	対面実施	前年度より申込者数は減少。保育・学童・子ども食堂など、児童分野が人気。受け入れ施設の感想は概ね良好で、真面目に取り組んでいる学生が多いように感じた。参加者からのフィードバックの場を設けておらず、その後のボランティア活動へのつながりが見えない。	参加者数・利用者数・利用件数等	50名	124人	A	申込者数150名	取組の継続	ボランティアセンター移転に伴い、手続きに来るのが今までより難しくなることが予測される。地域のニーズにあったメニュー、福祉以外の活動メニューを盛り込むか等は検討する。	—	—	—	社会福祉協議会市民力支援課(福祉政策課)
13		イベント等	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	青少年海外交流	海外の青少年と交流し、国際理解を深め、異文化・外国語でのコミュニケーション体験により国際的視野を持った青少年を育成する。	市内在住の中学生	1	16	市単独	どちらも実施	高山市の中学校を訪問し、日本の良さや八王子の魅力などを英語で伝える(プレゼンテーション)発表会を行ったほか、互いの文化を体験するグループワークなどで交流した。また、新たに台北市を訪問し、文化施設、史跡等の見学を行った。	参加者の満足度	参加者アンケートの項目における『参加前後で、海外や外国語への興味・関心が向上したかどうか』の設問に"はい"と回答した参加者の割合が80%以上	93.8%	A	満足度80%以上	取組の継続	概ね前年度と同じ内容で進めるが、訪問する中学校が変更になるので、事前の打ち合わせを入念に行う。	5,965	5,209	6,084	学習支援課
			003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	3-4	未来につながる文化の継承と創造	北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。	子ども	1	15	市単独	対面実施	北海道白糠町の小学5・6年生15人が八王子市に来訪し、八王子市の小学生と歴史や文化を学びながら友情を育み、親善を深めた。参加者からは、新しくできた友だちと八王子市人形体験など様々な活動ができて楽しかった、来年度も参加したいといった好評の声が寄せられた。	参加者の満足度	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して"よかった"または"とてもよかった"と回答した参加者の割合が100%	100%	A	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して"よかった"または"とてもよかった"と回答した参加者の割合が100%	取組の継続	令和7年度は八王子市の小学生が白糠町を訪問予定である。本市と白糠町の歴史や文化の学習・体験を通じて友情や郷土を愛する心を育む。	1,108	837	3,968	文化財課
14		青少年育成・体験活動	003	青少年の海外交流・都市間交流の実施	3-4	未来につながる文化の継承と創造	北海道白糠町小学生交流事業	本市と歴史的なゆかりのある北海道白糠町の小学生と交流し、互いの地の歴史や文化を学ぶとともに、友情を育み、親善を深め、相手を思いやる心を醸成する。	子ども	1	15	市単独	対面実施	北海道白糠町の小学5・6年生15人が八王子市に来訪し、八王子市の小学生と歴史や文化を学びながら友情を育み、親善を深めた。参加者からは、新しくできた友だちと八王子市人形体験など様々な活動ができて楽しかった、来年度も参加したいといった好評の声が寄せられた。	参加者の満足度	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して"よかった"または"とてもよかった"と回答した参加者の割合が100%	100%	A	参加者アンケートにおける『交流事業に参加してよかったか』の設問に対して"よかった"または"とてもよかった"と回答した参加者の割合が100%	取組の継続	令和7年度は八王子市の小学生が白糠町を訪問予定である。本市と白糠町の歴史や文化の学習・体験を通じて友情や郷土を愛する心を育む。	1,108	837	3,968	文化財課
			004	人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけを提供する。	どなたでも	183	6,125	市単独	対面実施	3館合計183講座を開催し、6,125名が参加した。毎年開催する由木の里のメカイの講座では7倍超の応募倍率があり、メカイを鑑み上げる工作講座である。参加者からは「昔からの文化に触れられてよかったです。」等の感想が聞かれた。(参考:令和5年度は118講座、3,201名参加)	参加者の満足度	満足度80%以上	87.7%	A	満足度80%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	2,655	3,005	2,844	学習支援課
15		講座・教室	004	人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけを提供する。	どなたでも	183	6,125	市単独	対面実施	3館合計183講座を開催し、6,125名が参加した。毎年開催する由木の里のメカイの講座では7倍超の応募倍率があり、メカイを鑑み上げる工作講座である。参加者からは「昔からの文化に触れられてよかったです。」等の感想が聞かれた。(参考:令和5年度は118講座、3,201名参加)	参加者の満足度	満足度80%以上	87.7%	A	満足度80%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	2,655	3,005	2,844	学習支援課
			004	人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民自由講座	歴史、文学、健康等、多種多様な分野の講座を市民団体・大学・企業などと連携して実施し、市民の生涯学習活動のきっかけを提供する。	どなたでも	183	6,125	市単独	対面実施	3館合計183講座を開催し、6,125名が参加した。毎年開催する由木の里のメカイの講座では7倍超の応募倍率があり、メカイを鑑み上げる工作講座である。参加者からは「昔からの文化に触れられてよかったです。」等の感想が聞かれた。(参考:令和5年度は118講座、3,201名参加)	参加者の満足度	満足度80%以上	87.7%	A	満足度80%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	2,655	3,005	2,844	学習支援課

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
				対象 者	回 数			参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由							
			NO 施策名	No 基本施策																					
16	講座・教室	教養的なもの	004 人生を豊かにする多様な講座の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子学園都市大学(いちよう塾)	市民が意欲をもって学ぶことができる場を提供する。大学等の高度で専門的な学習機会を継続的に提供し、市民の生きがいづくりやまちの活性化に貢献することを目指す。	成年	258講座 (中止講座を除く)	4,279名 (オンデマンド受講者数含む)	委託	どちらも実施	・大学キャンパスを会場とする正規科目の講座数が前年度より増加した。 ・オンライン配信 公開講座:6講座・正規科目5講座 計11講座配信 ・リカレント講座:20講座 ＜その他実施事業＞ ・いちよう塾開学20周年記念事業特別講演会を実施した。 ・作品展で、工学院大学の学生によるAR技術を活用した展示を併設した。 ・多摩大学の学生がWEBからの講座申込み方法を個別対応でサポートした。	参加者の満足度	95%以上	前期一般講座 95.6% 後期一般講座 95.4%	A	95%以上	取組の継続	年間300講座を目標に、一般講座と公開講座を合わせて開催する。また、オンデマンド講座については12講座以上(正規科目を含む)を目標とする。満足度を保ちつつ、講座の提供数や受講者数の減少を改善する必要がある。	57,254	48,949	66,328	学園都市文化課(学園都市文化ふれあい財団・学園都市振興課)	
17	講座・教室	家庭生活	004 人生を豊かにする多様な講座の提供	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活講座・講演会	消費者の自立を支援するため消費生活に関する学習の機会を提供する。 自立し、自ら行動する消費者市民を育むため、各種消費生活講座・講演会等を開催し、消費者への啓発を図る。	どなたでも	①都共催講座2回 (共催・対面) ②月間講演会1回 (共催・対面) ③消費生活講座4回 (市単独・対面)	① 72 (出前寄席30講演会42) ② 56 ③ 206	共催	対面実施	・「TOKYOエシカル」の一環としてイベントに参加。寄席を通してエシカル消費の普及、啓発を行った。 ・健康をテーマにした消費者団体連絡会主催の講演会を開催。募集人数を上回る応募があった。	参加者数・利用者数・利用件数等	各回の募集人数の90%以上の参加率	90%	A	各回の募集人数の90%以上の参加率	取組の継続	【課題】消費生活に関する情報を多くの市民に効果的に伝え、一人ひとりが消費者市民社会の実現に向けての意識を持つこと。 【方向】消費者被害防止のための内容の講座や、自らの消費行動が与える地球環境への影響などの興味や関心を深めるための講座を実施する。	38	40	54	消費生活センター	
			005 郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	郷土資料館講座・体験学習	郷土の歴史や文化への関心を高めると共に理解を深める。 郷土の歴史や文化財への関心を高めるような講座及び体験学習を実施する。	どなたでも	18	504	市単独	対面実施	・講座の実施 (1)「八王子空襲の体験談を聞く」「戦争体験を聞く」の2講座 (2)姉妹都市盟約50周年記念事業見て歩き「八王子千人同心ゆかりの地を歩こう!」 (3)企画展「未来への贈り物」と連動した講座「寄贈者からのお話 八王子銘仙とその図案」 ・ワークショップの実施 (1)「蒔と生糸の魅力を発見!」 (2)「ハチオウジソウのまゆ人形を作ろう」 (3)「みんなで楽しむお手玉遊び」(12回) 等	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者125人以上	504人	A	参加者125人以上	取組の継続	郷土の歴史や文化財への関心を高められるよう、企画展に関連付けるなど興味を引ける方法で、引き続き実施する。	243	438	220	文化財課(郷土資料館)	
18	講座・教室	教養的なもの																							

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目標値	目標値に対する 実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
19	講座・教室	教養的なもの	005	施策名 郷土の歴史や文化財に親しむ	No 3-4	基本施策 未来につながる文化の継承と創造	文化財見て歩き	郷土の歴史や文化に親しみ、理解を深めるため、地域の文化財を市民に紹介しながら巡る。	どなたでも	3	123	市単独	対面実施	アンケートでは実施した3回とも95%の方が、講座に満足であったと回答した。滝山城跡、八王子城跡の回には、スポーツ振興課の協力で準備運動として「城攻め体操」を行った。滝山城跡では100%、八王子城跡では98%が「城攻め体操」は良い準備体操になったと思うと回答した。	参加者の満足度	参加者の7割以上が「満足」と回答	参加者の9割が「大変満足」「満足」と回答	A	参加者の7割以上が「満足」と回答	取組の継続	市民が本市の歴史文化や身近な地域について学び、郷土に対する愛着と理解を深める機会を提供する。	6	6	6	文化財課
			20	イベント等	教養的なもの	005	郷土の歴史や文化財に親しむ	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子市人形と民俗芸能の公演	八王子市人形や説経節(説経浄瑠璃)・獅子舞・木遣などの公演を通して、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	どなたでも	1	887	委託	対面実施	会場を、昨年度の南大沢文化会館から、例年実施しているJ:COMホール八王子に戻しての開催となった。参加者数が新型コロナウイルス感染症以前の人数に戻ってきており、盛況であった。また、ロビーで展示している各団体のブースもにぎわっており、市民の理解・関心が高まってきたと思われる。	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者500人	参加者887人	A	参加者500人	取組の継続	市民の、市固有の伝統芸能への興味を深めるとともに、伝統芸能の継承について理解と関心を高める。	1,593
21	イベント等	教養的なもの	006			文化芸術に触れる	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子市民文化祭	市民による文化活動の発表と市民の鑑賞の機会を提供し、市民文化の振興を図る。	どなたでも	31	参加者2,193 入場者10,300	共催	対面実施	昨年に引き続き実施した。メイン会場のいちょうホールが改修により休館していたため、南大沢文化会館など例年と違う会場で実施したことなどから、入場者が前年度比20%減となった。	等参加者数・利用者数・利用件数	参加者・来場者数の増	参加者前年比4%減 入場者前年比20%減	A	参加者・来場者数の増	取組の継続	リニューアルオープン後のいちょうホールで開催できるため、より多くの来場者が得られるよう、周知を図る。	6,021	5,917
22			イベント等	教養的なもの	006	文化芸術に触れる	3-4	未来につながる文化の継承と創造	八王子コミュニティオペラ	・市民に身近な場所で、質の高い優れた芸術や文化を鑑賞・参加体験する機会を提供する。 ・プロやセミプロを目指す若手演奏家を育成するため、オーディションを実施し、若手演奏家に実演の機会を提供する。 市民に身近な場所でオペラ合唱を学ぶ機会を提供し、文化芸術への市民参加の普及を促進する。	どなたでも	①1 ②4 ③1 ④3	参加者②延191 ③6 ④2 入場者①187 ③58	補助	対面実施	令和4,5年度休止を経て、令和8年度に向けたプレコンサートを実施した。4回の市民向け声楽ワークショップ、若手のための公開マスタークラス、ワークショップ参加者も出演しての令和8年度に向けたプレコンサートを行った。	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者200名(10回)	95%	A	参加者320名(16回)	取組の継続	参加者増加	3,139	2,730

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象 者	回 数	参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
			NO	施策名	No	基本施策																			
23	その他	子育て	007	読書の まち八 王子の 推進	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	乳幼児の 読書活動 支援	乳幼児から読書にふれる機会を提供することにより、読書習慣の啓発を図る。 ブックスタート事業など、発達段階に応じた切れ目ない読書活動の支援を行う。	乳幼児	【ブックスタート】72回 【おはなし会】148回	【ブックスタート】2,520人 【おはなし会】1607人	市単独	対面 実施	【ブックスタート】コロナ禍よりセットの配付のみの実施としていたが、ボランティアによる読み聞かせを再開し、絵本のプレゼントとともに、作品にふれる機会を創出した。 【おはなし会】図書館主催と協力団体との協働による2種類で実施し、ボランティア団体による実施も受け入れた。	参加者数・利用者数・利用件数等	【ブックスタート】2,590人 【おはなし会】2,100人	【ブックスタート】2,520人 【おはなし会】1607人	A	【ブックスタート】1,710人 【おはなし会】1700人	改善・見直しの実施	【ブックスタート】令和7年度から乳幼児健診が個別受診となったため図書館を会場とし子ども家庭センターと連携し通知類に引換券等を同封することにより、図書館を会場としてボランティアと実施する。 【おはなし会】対象年齢に応じて内容や会場を工夫し、子どもたちの図書館や本、人との出合いを促進する。 【三歳児健診読み聞かせ】コロナ禍において一時休止していた読み聞かせだが、令和7年度中の再開に向けて関係所管と調整し、10月からの再開を目指す。	2,863	2,257	2,389	図書館課
24	イベント等	趣味的なもの	007	読書の まち八 王子の 推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	本のPOP コンテスト (R2までは「読書感想画・読書感想文コンクール」を実施)	POP作りを通して、より主体的に読書体験を通じた感動を表現し、豊かな人間性を育むと共に、読書習慣の習得・読書活動の振興を図る。 子どもたちが読書に親しむことを目的に、市内在住の小学生～大学生を対象に、本のPOPコンテストを開催した。	若者	-	応募数3,225点	市単独	対面 実施	応募数について、前年度3,141点から84点増の3,225点となった。コンテストも4回目となり、特に高校・大学部門において、応募してきた学校の数が前年度7校から17校、応募数も前年度60点から80点と増加しており、私立学校を含む様々な学校へ認知が広がり、浸透できていることがうかがえる。	参加者数・利用者数・利用件数等	前年度(3,141点)を上回る応募作品数	3,225点	A	前年度(3,225点)を上回る応募作品数	取組の継続	新規の学校からの応募を増やすことを課題とし、更なる周知を行う。	90	90	99	図書館課
25	その他	社会貢献活動	007	読書の まち八 王子の 推進	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	地域の学校との連携活動	図書館業務を体験し、理解していただくことにより、図書館の魅力を伝えるとともに利用についての普及啓発を図る。 職場体験や選書体験等を通じて、子どもたちに図書館の機能や魅力を伝えるとともに、図書館に対する意見等を聞くことで図書館ニーズを把握し、利用促進につなげる。	子ども(保護者含む)	49	【施設見学(小学生)】1511人 【職場体験(中学生)】29人 【南大沢学園】57人 【南多摩中】238人	市単独	対面 実施	【施設見学(小学生)】5館27回1511人 【職場体験(中学生)】6館12回29人【南大沢学園】8回 57人 南大沢図書館では南大沢学園と連携し、授業として司書が本の修理や読み聞かせを指導した。(修理6回30人、読み聞かせ2回27人) 【南多摩中】2回 中央館 146人 生涯館 92人 7月、11月のフィールドワークの他、学校見学会に司書が出張してブックトークを行った。	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者数1,940人	参加者数1,835人	A	参加者数2,200人	取組の継続	令和7年5月1日から川口館が再開館することから、目標値を令和5年度の目標値に準ずる値とした。 地域の学校との連携は子どもの読書活動推進にも重要なものと考えており、小学校児童の施設見学、中学校生徒の職場体験、南多摩中のフィールドワーク受け入れやブックトーク、南大沢学園との連携事業の実施について、積極的に行っていきたい。	—	—	—	図書館課
26	講座・教室	教養的なもの	007	読書の まち八 王子の 推進	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	八王子千人塾	高齢者が図書館を使った調査法などを学ぶ講座で、交流を図りながら興味を持続けることで、生きがいづくりを創出する。 中央図書館が毎年開催する60歳以上の市民を対象とした生涯学習支援事業。図書館の使い方・資料検索方法・論文の書き方等の講座を開催している。	シニア	1	17	共催	対面 実施	講座の修了者が講師を務めるなど学び直しの成果が知の循環につながった。調べ学習は生きがいという意見も多く、自主グループへの加入率も高い。令和6年度は事業開始20年の節目にあたり、記念イベントを開催した。	等参加者数・利用者数・利用件数	講座修了者10人	講座修了者17人	S	講座修了者10人	取組の継続	講座修了者の自主グループ「塾生の会」と連携しながら内容の充実を図るとともに、修了後も調べ学習が継続できる環境を提供する。	—	—	—	図書館課

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
							対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
27	その他	教養的なもの	NO 007 読書の まち八 王子の 推進	No 3-3	基本施策	学びを活かせる生涯学 習の推進	図書館お すめの “ぶっく ばっく”	普段は手に取らない新たな 本との出会いを提供し、気にな るテーマの本について市民 の読書活動の質の向上を図 る。 普段は手に取らない新たな 本との出会いを提供し、市民 の読書活動の質の向上を図 るため、図書館司書が選んだ 本を3～5冊にバック化し、お 楽しみ/バックとして貸し出す 事業。	どなた でも	通年実施	【全館合計 貸出冊数】 2,089冊	市単独	対面 実施	季節の要素を取り入れ た選書内容とするなど、 興味を引くような工夫を 重ねている。安定して借 りられており、継続して利 用しているという声がある など、利用者からは好評 である。	等参 加者 数・ 利用 者数 ・利 用件 数	【全館合計貸 出冊数】2,578 冊	【全館合計貸 出冊数】 2,089冊	A	【全館合計貸 出冊数】1,500冊	改善・見 直しの 実施	新しい本との出会いの機会とい う機能は保ちつつ、イベント性 を持った開催に切り替える。	—	—	—	図書館課
			情報提供・環 境整備	007 読書の まち八 王子の 推進	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	新たな読 書空間“パ ークライ ブラリー”	ポストコロナにおける身近な 読書環境を整備するととも に、読書の普及啓発や図書館 情報の効果的な発信を行い、 地域の情報拠点として地域コ ミュニティの活性化に寄与す る。公園を活用した新たな読 書空間を演出することにより 新たな利用者層を開拓する。	どなた でも	中央:1回 南大沢:2 回	中央:陵南 公園232 人 南大沢:春 の小山内 裏公園 216人、 秋の長池 公園246 人	市単独	対面 実施	中央:昨年度から開始 した陵南公園において 開催し来園者からも好 評を得た。 南大沢:例年と同じく 春は小山内裏公園、秋 は長池公園で実施。実 施から5年経過し、定 着した事業となっている。 川口:実施せず (工事休館のため)	等事 業の 再構 築・充 実・拡 大	中央:年1回の 実施 南大沢:年2回 の実施 川口:実施せず (工事休館のため)	中央:1回 南大沢: 2回 川口: 1回	A	中央:年1回の実 施 南大沢:年2回の 実施	取組の 継続	中央:移動図書館車を持ち込み次 年度開館予定の新図書館のPR を行うほか、防災に関する体験コー ナーとコラボした図書展示を行う など、通常の図書館と異なる新たな 読書機会を創出する。 南大沢:規模の縮小化により機動 力を高め、実施回数の増を図る。	—	—	—	図書館課
29	その他	教養的なもの	007 読書の まち八 王子の 推進	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	非来館型 サービスの 拡充	新型コロナウイルス感染拡大 防止や、その他の理由により 図書館に来館できなくても図 書館サービスの提供を受けら れるよう普及啓発を図る。 電子書籍・Webサービスの拡 充や非来館型利用者登録の 実施により、図書館に来館せ ずに、図書館利用者登録や読 書ができる環境を整備し、 「新しい生活様式」における身 近な読書環境の整備を図る。	どなた でも	—	【電子書籍 貸出数】 50,557 回 【タイトル 数】 17,813 点(うち読 み放題コ ンテンツ (書籍) 501点) 【閲覧数】 270,71 3回	市単独	オンライ ン実施	電子書籍サービスを継 続し、身近な読書環 境の整備に努めた。読み 放題パックの拡充を図 り、学校の朝読書など のニーズにこたえた。	参 加者 数・ 利用 者数 ・利 用件 数等	令和5年度の 【電子書籍貸 出数】52,390 回 【閲覧数】 299,600回 を超える。	【電子書籍貸 出数】 50,557回 【タイトル数】 17,813点(うち 読み放題コ ンテンツ(書 籍)501点) 【閲覧数】 270,713回	A	令和6年度実績 【電子書籍貸 出数】50,557回、 【閲覧数】 270,713回を上 回る利用	取組の 継続	ホームページ等、また、学校図書 館との連携を通じ、電子書籍利用 のPRに努め、利用促進を図る。	7,000	6,923	7,000	図書館課	
			講座・教室	008 スポーツ・レク リエー ションに親し む機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	ネオテニス 教室	親子参加型のスポーツの場 を提供し、八王子市発祥の ニュースポーツ「ネオテニス」 の普及啓発を図る。	小学3 年生以 上	6	延べ200 人 (参加申込 者は50 人)	市単独	対面実 施	令和5年度と比較し て、多くの参加者が集 まった。八王子発祥の ネオテニスを基礎から 学ぶものとして例年ど おり全6回開催した。 初回では、空振りが多 かった参加者が、最終 回には試合ができるよ うになるなど、参加者 の反応は概ね好評で あった。	数参 加者 数・ 利用 者数 ・利 用件 数	60	延べ200人 (参加申込 者は50人)	A	60	取組の 継続	現行の取組みを継続しながら、更 なるニュースポーツの普及に努め る。	30	13	43	スポーツ振 興課
31	イベント等	健康・スポーツ	008 スポーツ・レク リエー ションに親し む機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	ヘルシー ウォーキン グ	市内の名所や自然を感じる 施設を巡るウォーキング大 会。本事業により、市民の体 力、健康増進意識の向上を図 る。	どなた でも	1	742人	委託	対面実 施	エスフォルタアリーナ ～東京たま未来メッセ にて約11kmのコース にて実施。 参加者より、体を動か す機会となり充実した 一日となった。歩いた ことにより新たな発見 があったなどの声があ った。	件参 加者 数・ 利用 者数 ・利 用件 数	700	742	A	800	取組の 継続	参加者の満足度をより高めるた め、今後も継続して実施する。	624	580	461	スポーツ振 興課	

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 標 価	令和6年度目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
			NO 施策名 #N/A	No 基本施策 #N/A																					
32																									
	夏山登山入門（令和5年度で事業廃止）																								
33	イベント等	健康・スポーツ	008	スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ふれあい運動会	運動会をとおして、障害のある人もない人も共に楽しみ理解を深めあうことにより、ノーマライゼーションの意識の普及を図る。 障害者や支援者・ボランティアなどが自主的に運動会を企画・運営し、障害のある人となし人との交流と障害に関する理解を促進する。	障害者	中止	-	実行委員会	対面実施	雨天により中止	数参加者数・利用者数・利用件	参加・協力団体目標40団体	-	評価なし	参加・協力団体目標40団体	取組の継続	雨天での中止については、障害者は寒暖差や雨などに注意が必要であるため止むを得ない。天候に左右されない体育館での開催についての検討は、ふれあい運動会実行委員会で毎年行っているが、体育館の予約の難しさや、青空の下での開催を希望する団体が多いことから、富士森公園陸上競技場での開催を継続している。	800	500	800	障害者福祉課
34	情報提供・環境整備	仕事に必要な知識技能、資格の取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	社会人の学び直し情報の提供	リカレント(学び直し)の推進 社会人が学び直しをする際に必要となる情報を、関連する所管や機関、大学等と連携して集め、提供する。	どなたでも	-	-	市単独	—	市の実施する講座、学園都市大学いちょう塾の講座、大学公開講座、都立高校の公開講座、放送大学、職業訓練学校の情報を発信した。	普及・啓発等	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・アプリの新規ダウンロード数500以上。	アプリの新規ダウンロード数436	A	・アプリの継続的かつ効果的な運用。 ・アプリの新規ダウンロード数500以上。	取組の継続	利用者が欲しい情報に辿り着くことができるよう、引き続きメニュー構成等について工夫・改善を行い、継続的かつ効果的にアプリを運用していく。	396	396	396	学習支援課
35	講座・教室	仕事に必要な知識技能、資格の取得	009	社会人の学び直しの支援(リカレント教育)	5-2	まちの活力を創出する産業	本気の創業塾	創業に必要な経営ノウハウ等を学ぶ機会及び経営者としての覚悟、気づきを得る機会を創出するとともに、同じ志を持つ者のネットワーク構築を図る。 市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において、八王子で創業したい人を対象に創業に必要な基礎知識を学ぶ機会を提供する。	どなたでも	6	18(うち1名途中辞退)	共催	対面実施	昨年と回数や内容に大きな変更はなかった。参加者からは、講義やその後の個別伴走支援等をおとして創業に向け具体的に何をすべきか、何が必要か分かったというようなおおむね好評の声を得た。	参加者数・利用者数・利用件数等	受講生:20人 創業者:7人	受講生:18名 創業者:8名	A	受講生:20人 創業者:7人	取組の継続	引き続き創業希望者及び創業間もない方に対し、創業に必要な知識の習得及び創業者同士のネットワーク形成を目的として全6回の講義及びフォローアップを実施する。 実施にあたっては、引き続き市と商工会議所が共同で運営するサイバーシルクロード八王子において実施する。	735	735	978	産業振興推進課
36	講座・教室	情報端末・インターネットに関する	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	パソコン・タブレット教室	障害者の情報収集手段としてIT機器を有効活用ができるよう、障害別に有用なアプリや使用方法について紹介し、日常生活の向上を図る。障害によって会場まで行くことができない人を対象に、訪問相談を実施する。	障害者	13	998人 (定員が決まっていない事業があるため、延べ人数を記入)	指定管理者	対面実施	パソコン講習会を11講座、パソコン学習会を1講座、IT個別相談を1講座実施した。パソコン学習会の参加者が増加した一方、パソコン講習会は受講希望者が少ない講座があるため、内容の検討が必要だと考える。参加者からは講座終了後のフォローアップ講座があることへの好意的な意見が寄せられている	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者目標1,200人	参加延べ人数998人	B	参加者延べ人数1,000人	取組の継続	支援者の養成が求められていることから、令和7年度は支援者養成にも重点を置いた内容を検討する	1,708	1,631	1,774	障害者福祉課

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定			令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況 昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目標値	目標値に対する 実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
			NO 施策名	No 基本施策																					
37	講座・教室	健康・スポーツ	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	見えにくくなった方の学習	中途視覚障害者の日常生活の向上を図る。 中途視覚障害者を主な対象者として、点字の学習等を行い、日常生活の向上を図る。	障害者	1	8	指定管理者	対面実施	2名の新規参加者を迎えた。8月は暑さ対策として休講し、全21回実施した。長年通い続けている方の中には、指で点字を読めることが出来るようになった方がいるなど学習の成果が表れている。受講生からは同障の仲間と活動できる貴重な時間となっているとの意見が寄せられている	参加者数・利用者数・利用件数等	講習会実施回数25回	21回	A	参加者延べ人数140人	取組の継続	点字講習会の他、福祉情報の提供や生活相談も継続しておこなっていく	465	315	432	障害者福祉課
			010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	中途失聴難聴者のための手話講習会	中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得するほか、情報交換の場の提供。 中途失聴難聴者が、自らのコミュニケーション手段として手話を習得する場として実施する(入門・初級・中級・上級の4クラス)ほか、中途失聴難聴者同士の情報交換の場としている。	障害者	4(4コース実施したため)	39(4コースごとの実人数の合計)	指定管理者	対面実施	入門・中級クラスは全16回(台風接近のため1回休講)、初級・上級クラスは全17回実施した。ボランティア養成クラスから移行してくる受講生が年々増加している。繰り返し手話を学ぶことが出来る講座である事に対し、受講生からは好意的な意見が寄せられている	等参加者数・利用者数・利用件数	講習会実施回数66回(全コース合計)	66回	A	講習会実施回数68回	取組の継続	繰り返し受講していただき、「手話」をコミュニケーション手段として使えるまでになるよう、事業内容を計画し、受講生を募る	1,238	1,025	1,208	障害者福祉課
39	その他	趣味的なもの	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	障害のある人も参加しやすい交流活動の場	障害者等が地域において自立した日常生活又は社会生活を営むこと 障害者の孤立化を防止するため、気楽に利用できる交流活動の場として地域活動支援センターを運用し、創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進を図る。	障害者	16	158	指定管理者	対面実施	新規事業として体験ボッチャ教室」を単発で開催した。施設の構造上実施を見送っていた運運動系事業であるが、参加者から好評を得たので今後も実施していきたい(上記の他、ヨガ教室も開催)。パッチワーク教室では、障害のある講師(聴覚障害者)が受講生の指導に当たり、手話以外のコミュニケーション方法も活用しながら、作品を完成させた。障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例に則した事業となった	参加者数・利用者数・利用件数等	前年度比110%(R5実績:1,743人)	参加延べ人数1965人	A	前年度比105%(R6実績1,965人)	取組の継続	数年に渡り参加されている方の活動を支援する他、新規参加者の増員に努めたい	1,289	1,121	1,145	障害者福祉課
			010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	福祉まつり	事業に対して費用等を助成し、障がい者福祉の発展を図る。 市内の社会福祉施設・団体が手作りの作品や食品を販売するほか、ステージ上で太鼓や手話コーラスなどの活動発表を行い、施設利用者と地域住民との交流を図るとともに、福祉ボランティア活動に対する市民の関心と参加を高める。	どなたでも	1	来客数2000(推定)	実行委員会	対面実施	参加団体からユーロード沿いで開催希望もあり、今回2度目の開催となった。対面でイベント開催が制限なくできるようになり、活発な様子が伺えた。大学生ボランティアより取材依頼があり、ボランティア体験をしながら映像作品作りの場としても協力をした。経費の面では、八王子商工会議所からテントを無料で借りられたので、レンタル料金を削減できた。	普及・啓発等	参加30団体以上	参加団体数24	A	参加30団体以上	取組の継続	西放射線ユーロードでの開催は、社会福祉施設の活動を周知するのに適しているが、施設利用者重視で富士森公園開催を希望する施設の参加を増やしているかが課題となっている。社会福祉協議会としては、地域福祉応援企業のブースを初めて設け、福祉施設との橋渡しのイベントになることも模索する。	—	—	—	社会福祉協議会市民力支援課(福祉政策課)
40	イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり																			

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)			
							対象者	回数	参加者数 (人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況 昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目標値	目標値に対する 実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由								
41		イベント等	社会貢献活動	010	障害のある人の生涯にわたる多様な学びの支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	障害者文化展	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、障害者福祉・障害理解の促進に努める	障害のある人に作品発表の機会を提供するとともに、広く障害者福祉の啓発を行い、賞を贈るなど今後の創作を奨励する。	障害者	1	392(来場者延べ人数)	指定管理者	対面実施	昨年度と比較すると出展作品数は62点と減少したが、会場来場者数392名となりは増加した。出展者からは貴重な作品発表の場であること、来場者からは開催を毎年楽しみにしているとのことのご意見を頂戴している	件数 参加者数・利用者数・利用者数・利用	作品出展数100点	作品出展数62点	B	作品出展数100点	取組の継続	市内の障害者の皆さんが制作した作品を展示し、作品発表の場を設ける。専門家(八王子市夢美術館など)のご意見を参考に、魅力的な会場設営を心掛ける	148	127	139	障害者福祉課
				011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民いきいきリフレッシュ体操	市内の各市民センターで健康体操教室を開催し、市民の健康維持・増進を図る。	どなたでも	127	2,585	市単独	対面実施	令和5年度は社会体育指導員に欠員が生じていたため実施回数が減少したが、令和6年度は2名体制となったことにより、実施回数・参加人数ともに増加した。体操内容については、普段の生活にも取り入れやすい動きを組み込みつつ指導を行った。参加者からは、「他の教室と違い、細かい指導をもらえる」や「指導者によるオリジナルな動作が楽しい」との声があった。	参加者数・利用者数・利用件数等	4,500人	2585	B	3000	取組の継続	市民の健康維持・増進を図るため、引き続き実施する。	8,385	8,342	8,586	スポーツ振興課	
42		講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	シニア	22	826	市単独	対面実施	3館合計22講座を開催し、826名が参加した。シニア向けのDX講座を中心に応募者の多い講座を開催しLINE講座ではインストール、友達申請、スタンプ取得などを学んだ。リカレント講座(市民自由講座)への移行により開催講座数の減少(参考:令和5年度は42講座、1,330名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	85.1%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	517	353	517	学習支援課	
				011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	シニア	22	826	市単独	対面実施	3館合計22講座を開催し、826名が参加した。シニア向けのDX講座を中心に応募者の多い講座を開催しLINE講座ではインストール、友達申請、スタンプ取得などを学んだ。リカレント講座(市民自由講座)への移行により開催講座数の減少(参考:令和5年度は42講座、1,330名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	85.1%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	517	353	517	学習支援課	
43		講座・教室	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	シニア	22	826	市単独	対面実施	3館合計22講座を開催し、826名が参加した。シニア向けのDX講座を中心に応募者の多い講座を開催しLINE講座ではインストール、友達申請、スタンプ取得などを学んだ。リカレント講座(市民自由講座)への移行により開催講座数の減少(参考:令和5年度は42講座、1,330名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	85.1%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	517	353	517	学習支援課	
				011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ゆうゆうシニア講座	シニア世代の健康維持や生きがいづくりを目的に、パソコン・タブレット・スマートフォンなどのICTに関連する講座や健康維持に関するプログラムなどを提供する。	シニア	22	826	市単独	対面実施	3館合計22講座を開催し、826名が参加した。シニア向けのDX講座を中心に応募者の多い講座を開催しLINE講座ではインストール、友達申請、スタンプ取得などを学んだ。リカレント講座(市民自由講座)への移行により開催講座数の減少(参考:令和5年度は42講座、1,330名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	85.1%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、ICT関連講座や健康維持に関するプログラムなどを提供していく。	517	353	517	学習支援課	

【基本施策1】(番号1~49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
			NO	施策名	No	基本施策																				
44	その他	教養的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	高齢者施設読書活動支援	図書館への来館が困難な高齢者の入居施設を対象に、図書の出張貸出しや団体貸出しを実施し、身近で読書に親しめる環境の整備を図る。	シニア	44	【施設数】12か所 【貸出数】4,749冊	共催	対面実施	出張おはなし会は中止となることもあったが、実施の際の入居者の反応は良く、リクエストも多いため、事業の効果が出ている。	数参加者・利用者数・数利用者	【施設数】12か所 【貸出数】5,000冊	【施設数】12か所 【貸出数】4,749冊	A	前年度と同数 【施設数】12か所 【貸出数】5,000冊	取組の継続	ボランティアや職員との交流は入居者も楽しみにしており、図書の貸出とともに出張おはなし会を継続して実施する。	5,147	5,255	5,351	図書館課	
			011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	2-3	保健医療の充実	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(旧介護予防講座)	フレイル予防の視点を取り入れ、要介護状態になることを防止し、地域において自立した日常生活を営めることを目的とした、各種介護予防講座を実施する。	シニア	大横46 東浅川79 南大沢332	大横953 東浅川2430 南大沢8525	市単独	対面実施	実施開始から4年目となり、庁内関係所管や高齢者あんしん相談センターとの連携をより強化しながら、地域へのアプローチを展開することができた。さらに、地域や介入する団体のニーズに合わせ、より効果的な方法を一緒に検討しながら進めることができた。	参加者の満足度	講座の満足度80%	目標値について、「健康を振り返るきっかけになった」に変更。 結果:80%以上	A	健康を振り返るきっかけになった人の割合80%以上	取組の継続	地域におけるフレイル予防の取組や活動は広がってきているものの、フレイルの認知度や予防的な取組の実施状況は、地域によって差があることから、関係所管とも連携しながら、事業展開を進めていく必要がある。	大横966 東浅川6739 南大沢6183	大横236 東浅川6152 南大沢5858	大横1553 東浅川7375 南大沢7549	大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター	
45	講座・教室	健康・スポーツ	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	2-3	保健医療の充実	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施(旧介護予防講座)	フレイル予防の視点を取り入れ、要介護状態になることを防止し、地域において自立した日常生活を営めることを目的とした、各種介護予防講座を実施する。	シニア	大横46 東浅川79 南大沢332	大横953 東浅川2430 南大沢8525	市単独	対面実施	実施開始から4年目となり、庁内関係所管や高齢者あんしん相談センターとの連携をより強化しながら、地域へのアプローチを展開することができた。さらに、地域や介入する団体のニーズに合わせ、より効果的な方法を一緒に検討しながら進めることができた。	参加者の満足度	講座の満足度80%	目標値について、「健康を振り返るきっかけになった」に変更。 結果:80%以上	A	健康を振り返るきっかけになった人の割合80%以上	取組の継続	地域におけるフレイル予防の取組や活動は広がってきているものの、フレイルの認知度や予防的な取組の実施状況は、地域によって差があることから、関係所管とも連携しながら、事業展開を進めていく必要がある。	大横966 東浅川6739 南大沢6183	大横236 東浅川6152 南大沢5858	大横1553 東浅川7375 南大沢7549	大横保健福祉センター 東浅川保健福祉センター 南大沢保健福祉センター	
			011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	ボランティア講師による教室	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。 ボランティア講師に対しての生きがい含め、高齢者および障害のある人を対象に今後の生きがいづくりとして開催。	シニア	28	526	市単独	対面実施	ボランティアでご協力いただいていた講師のご都合により、一部教室が終了になったが、そのほか従来からの教室についても参加者の満足度が高い教室を実施することができた。 ※左記の教室中、延回数で計上していない分の内訳 絵手紙教室:計20回、延267人 囲碁入門教室:計22回、延307人	参加者の満足度	講座等の満足度80%以上	講座等の満足度80%以上	A	講座等の満足度80%以上	取組の継続	令和7年度も高い満足度を維持したまま実施していく。	66	33	83	南大沢保健福祉センター	
46	講座・教室	趣味的なもの	011	健康寿命の延伸につながる生涯学習の取組	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	ボランティア講師による教室	高齢者及び障害のある人を対象とし、健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。 ボランティア講師に対しての生きがい含め、高齢者および障害のある人を対象に今後の生きがいづくりとして開催。	シニア	28	526	市単独	対面実施	ボランティアでご協力いただいていた講師のご都合により、一部教室が終了になったが、そのほか従来からの教室についても参加者の満足度が高い教室を実施することができた。 ※左記の教室中、延回数で計上していない分の内訳 絵手紙教室:計20回、延267人 囲碁入門教室:計22回、延307人	参加者の満足度	講座等の満足度80%以上	講座等の満足度80%以上	A	講座等の満足度80%以上	取組の継続	令和7年度も高い満足度を維持したまま実施していく。	66	33	83	南大沢保健福祉センター	
			#N/A		#N/A																					
47			#N/A		#N/A																					
			外国人のための防災訓練（令和2年度で事業廃止）																							
47			#N/A		#N/A																					
			外国人のための防災訓練（令和2年度で事業廃止）																							
48	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。	どなたでも	8回	303人	市単独	対面実施	女性のキャリア、女性活躍、男性の育児、家庭内のコミュニケーションや心理学、DV防止、LGBTなどさまざまなテーマの講座を開催した。満足度も80%～100%と概ね高かった。	参加者の満足度	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	アンケート集計結果における満足度の平均93.8%	A	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	取組の継続	男女共同参画社会の実現に向けて、意識啓発や能力発揮につながる講座を開催する。	1,347	318	753	男女共同参画課	
			012	性や国籍にかかわらず社会参画につながる学び	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画に係る講座の開催	男女共同参画社会の実現に向けて、一人一人の個性と能力を発揮できるよう、意識啓発や参画のための学習機会を提供する。	どなたでも	8回	303人	市単独	対面実施	女性のキャリア、女性活躍、男性の育児、家庭内のコミュニケーションや心理学、DV防止、LGBTなどさまざまなテーマの講座を開催した。満足度も80%～100%と概ね高かった。	参加者の満足度	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	アンケート集計結果における満足度の平均93.8%	A	アンケートで「大変満足」または「おおむね満足」と答えた割合90%	取組の継続	男女共同参画社会の実現に向けて、意識啓発や能力発揮につながる講座を開催する。	1,347	318	753	男女共同参画課	

【基本施策1】(番号1～49、45事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的・内容	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度 目標設定			令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
								対象者	回数	参加者数 (人)等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 昨年度との比較・変更 点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO 施策名	No 基本施策																				
49	講座・教室	教養的なもの	012 性や国籍にかかわらない社会参画につながる学び	3-3 学びを活かせる生涯学習の推進	国際理解講座	外国の文化への理解と外国人との交流を深め、多文化共生の推進を図る。	どなたでも	11	675	市単独	対面実施	3館合計11講座を開催し、675名が参加した。ペルー料理講座を開催することで、海外の文化に触れる機会をつくり、異文化交流の大切さや海外と日本の違いなどを学ぶことを目的とした。参加者からは「ペルーの事を知ることがきっかけとなる講座でした。」等の感想が聞かれた。(参考:令和5年度は6講座、397名参加)	参加者の満足度	満足度85%以上	91.7%	A	満足度85%以上	取組の継続	講座を実施し、多文化共生の推進を図っていく。	157	203	157	学習支援課	

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン・基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目標 値	目標値に 対する 実績値	評価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
50	講座・教室	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	家庭教育啓発リーフレット等の配布	家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子育てを応援するよう啓発を行う。 子育て中の保護者や行政委員等にリーフレットを配布し、家庭教育について、より広い層に関心をもってもらうとともに、地域で子どもと子育てを応援するよう啓発を行う。	親子・保護者	1	4,730部	市単独	—	市立小学校全校(義務教育学校を含む)の新小学1年生を対象にリーフレットを配布した。(4,730校)	普及・啓発等	効果的な啓発及びリーフレットの配布	リーフレットの配布	A	効果的な啓発及びリーフレットの配布	取組の継続	市立小学校全校(義務教育学校を含む)の新小学1年生を対象にリーフレットを配布する。	0	—	—	学習支援課
51	講座・教室	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	はちおうじファミリー☆ファシリテーター養成講座	ファシリテーション能力を向上させる講座を開催し、保護者同士や学校(教職員)・家庭・地域をつなぐ人材を養成する。	—	0	—	共催	—	平成31年度より未実施	数参加者用数・利用者数	実施に向け検討	—	評価なし	実施に向け検討	取組の継続	人材の発掘及び担い手の育成の方法について検討を行う。	0	—	—	学習支援課
52	講座・教室	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	ファミリー・サポート・センター事業	子どもを見て欲しい依頼会員とボランティアの提供会員による相互援助活動。 子育ての手助けをして欲しい人とお手伝いができる人が会員登録をして、子育てを地域で相互に助け合う活動を行う。	成年	3	30	補助	対面実施	SNSや広報のほか、八王子駅北口地下自由通路及びはちバス車内にもチラシをばり、本事業の周知を行った。また、既存の提供会員にも参加を促し、スキルアップを図った。	件参加者数・利用者数・利用	375人	365人	A	375人	取組の継続	講習の一部をオンラインで受講できるようにすることで、受講者の利便性を向上し、時間や場所に制限されことなくスキルアップが図れるようにする。	16,852	15,622	17,238	子ども家庭支援センター
53	その他	子育て	013	地域全体で子どもの育ちを支える	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	学童保育所	保護者の就労等の理由から、放課後に保育を必要とする児童を対象に、遊びを中心として異年齢集団の中で一人一人の健全な成長を手助ける。	子ども	月～土(ただし、祝日及び年末年始を除く)	令和6年4月1日時点の在籍児童数 6,520人 述べ登所児童数 1,155,459人	指定管理者	対面実施	小学校の特別教室を借用する等の方策により、令和4年から引き続き待機児童ゼロを維持した。また、夏季休業中の昼食提供については、実施施設を79施設に拡大した。	その他	待機児童ゼロを維持する。	待機児童ゼロを維持することができた。	A	待機児童ゼロを維持する。	取組の継続	児童数が増加している小学校区について、学校内の整備や周辺のテナントを借用することで、待機児童ゼロを維持する。また、夏季休業中の昼食提供を学童保育所全施設(91施設)で実施する。	2,892,337	2,761,928	2,831,456	放課後児童支援課
54	その他	社会貢献活動	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	教育人材バンクへのボランティア希望者の登録	地域ボランティア等の活用を図り、市立小・中学校および義務教育学校の教育活動を支援する。 学校と地域が一体となり、子どもを育む環境を整備するため、ボランティア希望者を人材バンクに登録する。	どなたでも	8,316	1,141	市単独	対面実施	ボランティア活動者の人数が伸び悩んでいることを踏まえ、他課との学校支援ボランティアの登録者の情報共有を進めた。	件参加者数・利用者数・利用	地域人材の効果的な活用への取り組みを行う。	学校に向けた人材活用の周知や広報・市内の大学・高等専門学校に向けた教育支援に繋げる募集を行った。	A	地域人材等を効果的に活用し、学校が必要とする支援を行う。	取組の継続	限られた人材の効果的な活用及び新たな人材の発掘が今後の課題。	9,599	9,828	9,809	地域教育推進課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040都市像・基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和6年度予算(千円)	令和6年度決算(千円)	令和7年度予算(千円)	令和6年度担当課(実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和6年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の課題と方向廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
55	講座・教室	青少年育成・体験活動	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	市立小学校における環境教育支援	市内小学校等の児童・生徒に対し、身近な環境について興味・関心を持つきっかけを提供する。 市内小学校等の総合的な学習の時間等を実施される環境教育実習に対して、講師の派遣等の支援を行う。	子ども	川の学習23回 みどりの学習7回	川の学習：支援校23校の生徒 みどりの学習：支援校5校の生徒	委託	対面実施	今年度は28校1990人の児童に対し川の学習・みどりの学習を実施。多くの児童が川の学習・みどりの学習を受けることができるよう意向のあった学校との調整を行うとともに、学校側からの要望に応えた内容を提供。参加者から「川や生きものの大切さを学ぶことができた。丁寧な説明でよかった」との声が多く寄せられた。	参加者数・利用者数・利用件数等	支援校25校もしくは35回以上の支援	支援校28校、支援回数30回	A	支援校25校もしくは35回以上の支援	取組の継続	より学校が取り入れやすい工夫をしていく。	1,343	1,343	750	環境政策課(委託先：特定非営利活動法人エコネット八王子)
56	講座・教室	子育て	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	放課後子ども教室	地域の人材、ボランティアの参画を得て、子どもたちに放課後の安全・安心な居場所を提供するとともに、学び・体験・遊び・交流活動等を行い、子どもの次代を担う力を育成するためのしくみづくりに資する。 平日の放課後や週末、夏休み等に小学校の施設を活用し、地域の人やボランティアの参画を得て全ての子どもたちに安全で安心な居場所を提供する。	子ども	年間延べ実施日数9,832日	延べ参加者数1,024,837人	委託	対面実施	週5日実施校数が昨年度の38校から41校に拡充することができた。 また、「朝の子ども教室」を9校で実施し、始業前の児童の安全安心な居場所を提供することができた。	参加者数・利用者数・利用件数等	950,000人	1,024,837人	S	延べ実施日数10,323日	取組の継続	実施日数の拡充や活動内容の充実など、学童保育所との連携による放課後の居場所づくりと、持続可能な放課後子ども教室の運営(PTAや地域における世代交代など、運営団体の担い手不足)に取り組む。	296,205	237,857	364,176	放課後児童支援課(各小学校地区放課後子ども教室推進委員会)
57	講座・教室	子育て	014	学校と地域との連携・協働による生涯学習活動	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	放課後子ども教室と学童保育所との連携拡大	学童保育所の管理運営を行うとともに、放課後子ども教室と連携し、全ての放課後の児童の居場所づくりを一体的に推進する。 全ての児童の放課後の安全・安心な居場所を確保し、児童が多様な体験・活動を行うことができるよう、放課後子ども教室と学童保育所の連携による一体型を推進する。	子ども	-	56校	委託	対面実施	学童保育所の学校内移転等に伴い校内交流型(一体型)での連携校が56校となった。また同事業の連携を図るために連携推進員を11名配置。 更に、放課後子ども教室に参加する児童と学童保育所の児童がともに参加できるスポーツプログラム事業を令和6年度は元Jリーガーによるサッカー教室を計49回実施した。	事業の再構築・充実・拡大等	56校	56校	A	・校内交流型連携校：59校・連携推進員の配置	取組の継続	両事業の参加児童がともに活動できる機会を拡充し、今後、学童保育所の学校内への移転や、学童保育所と放課後子ども教室の連携を更に推進する。	39,396	36,214	30,553	放課後児童支援課
58	講座・教室	子育て	015	子育て世代がつながりかけづくり	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	子育てひろば(親子つどいの広場など)	乳幼児及びその保護者が相互の交流を行う場所として、子育てについての相談、情報提供、助言・援助等を行う。	乳幼児及び保護者	2,448回	32,380	委託	対面実施	子育てに関する講座の中で、プレママ・プレパパを対象としたものを一覧にまとめ、チラシを作成した。さらに、各広場にて講座及びイベント情報を記載した毎月のおたよりと合わせて、利用者支援事業の活動の中で周知を図り、目標値を上回る実績値となった。	事業の再構築・充実・拡大等	講座実施数2,050回	2,448回	S	2,450回	取組の継続	プレママ・プレパパを対象としたイベントなどを継続して実施するとともに、来館者のニーズに合った講座を実施することで子育て力を養う。	141,509	135,721	139,649	子ども家庭支援センター

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開		未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
59	講座・教室	子育て	015	子育て世代が つながるきっ かけづくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる 市民生活の推進	子育て応援ひろば	子育ての中で生じる悩みを 解消し、子育て中の保護者を 支援する。 グループワークなどを通じて 子育ての中で生じる悩みを 解消し、子育て中の保護者を 支援する。	親子・保護者	3	54	市単独	対面実施	3館合計3講座を開催し、54名が参加した。子育て中の保護者向けに、幼児からの英会話教育の必要性などについて話を聞くことで子育てのヒントを目的に開催。参加者からは「英語教育のタイミングについて、先生の経験から学ぶことができて、大変ためになりました。」等の感想が聞かれた。(参考:令和5年度は1講座)	参加者の満足度	満足度90%以上	96.0%	A	満足度90%以上	取組の継続	子育て中の市民に向けた講座を実施する。	177	24	60	学習支援課
60	講座・教室	子育て	015	子育て世代が つながるきっ かけづくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる 市民生活の推進	家庭教育支援講座「星とおひさまFika(フィーカ)キャラバン」ワークショップ	家庭教育支援講座を茶話会(Fika(フィーカ))形式のワークショップで行うことにより、保護者の心理的負担を軽減し、家庭の教育力の向上を図る。	親子・保護者	17	207	補助	対面実施	小学校14校、生涯学習センター2館、学連協等を対象としたワークショップ1回の計17回実施した。(前年度は13校、2館、学連協1回の計16回)「話しやすい雰囲気づくり」や「保護者同士の交流の場の提供」について好意的な意見が多く寄せられた。	事業の再構築・充実・拡大等	15校	14校+2館+1回	A	15校	取組の継続	家庭教育支援チームとの協働により、講座を開催する。	150	181	225	学習支援課
61	イベント等	健康・スポーツ	016	地域での活動の きっかけづくり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	地区運動会・スポーツ大会	総合型地域スポーツクラブや旧体力づくりへ補助金を交付し、スポーツ大会等を通じ、地域コミュニティの活性化やスポーツ実施率の向上を図る。	どなたでも	13	8298	補助	対面実施	各地区において、地域住民を対象とした運動会や各種スポーツ大会を実施。地域住民のスポーツの振興に寄与したことにとどまらず、地域住民の交流の場となり、地域住民同士が つながるきっかけとなったとの声があった。	件数加等者数・利用者数・利用	8,000	8298	A	8,000	取組の継続	補助金の補助率を見直し、予算の範囲内で各団体の地区運動会等の開催を支援する。	1,782	1,367	1,260	スポーツ振興課
62	講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動の きっかけづくり	1-1	市民自治の推進	はちおうじ志民塾	これまで培ってきた自らの経験や知識を地域に根ざした主体的な活動に活かし、地域活動の担い手の中心となる人材を養成する。 これから定年退職する人や定年を迎えた人を対象に、退職後地域で活動するきっかけづくりをする。	八王子市内で市民活動をしたいと思っている人	15	21	委託	対面実施	講座内容は、団体の立ち上げや運営について必要となる具体的な知識や、活動していく上で役立つプレゼンテーションの手法を学ぶ講座などを実施した。21名の受講で、講座終了後のアンケートでは、満足度は平均97.5と高い評価だった。	件数加等者数・利用者数・利用	20人	21	A	20	取組の継続	この講座で学んだことを卒業後も地域活動、市民活動で実践できるように、今よりも一層のフォローを行う。(例:フォロー講座の実施、定期的な相談など)	2,565	2,565	2,598	協働推進課
63	イベント等	社会貢献活動	016	地域での活動の きっかけづくり	1-1	市民自治の推進	市民活動入門講座(アクティブ市民塾)	市民活動団体の活動を紹介する。 市民活動に対する理解を深め、市民活動を促進する。	どなたでも	6	102	指定管理者	対面実施	①子ども食堂カフェ北野 ②NPO法人八王子国際協会の活動を知ろう ③NPO法人すずしろ22の取り組み ④わら細工の会 円座 ⑤ゆる〜い空手で楽しく健康増進 ゆるからの会 ⑥伝承玩具で心も身体も活性化 八王子アクティビティケア研究会	参加者数・利用者数・利用件数等	150	102	B	100	改善・見直しの実施	この事業の回数を年6回から年3回に見直す。 参加型の講座であるので、紹介団体との調整が難しいことと、開始以来200回を超えて、同じような趣旨の企画も増えてきたことによる。	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	指定管理料の中で実施	協働推進課(市民活動支援センター)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開		未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や 昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 評 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
64	イベント等	社会貢献活動	016	施策名 地域での活動の きっかけづくり	No 1-1	基本施策 市民自治の推進	地域デビューパーティー802	シニア世代を対象に、市民活動に関する講演や団体紹介など地域での活動に参加するきっかけづくりをする。	どなたでも	1	455	実行委員会	対面実施	市民と市民活動団体の出会いの場であり、活動したい市民と仲間が欲しい団体とのマッチングイベントとして開催している。参加者はスタッフ25名を含めて455名となり、年々増加し、賑わいを見せている。	参加者数・利用者数・利用件数等	450	455	A	450	取組の継続	今年の参加団体は44団体で、会場の関係上、この数がMAXである。今後参加団体を増やすのなら会場について検討する必要がある。「お父さんお帰りなさいパーティー」から「地域デビューパーティー」に名称変更して4回目であった。更に多世代の地域デビューを強調していきたい。	200	200	200	協働推進課 (地域デビューパーティー802 実行委員会)
65	講座・教室	社会貢献活動	016	地域での活動の きっかけづくり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習コーディネーター養成講座	市民の学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成し、生涯学習推進事業の中核を担う人材の育成を目指す。 自ら講座を企画・運営し、市民の生涯学習活動を支援する「生涯学習コーディネーター」を養成する。	成年	1	12人	共催	対面実施	12名が受講し、最終的に9名が全課程を修了した。令和5年度と比べて受講者数は大きく変わらなかったが、講座内容の見直しを行い、より充実度の高い講座を目指した。	参加者の満足度	アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合80%以上	満足度100%	A	アンケートで「満足」「やや満足」と答えた割合80%以上	取組の継続	より効果的な開催内容について共催団体と検討を行い、参加者数の増加と満足度の向上を図り、より多くの市民にとって生涯学習を行うきっかけとなる場を提供する。	48	42	48	学習支援課
66	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	シニア元気塾 ボランティア入門講座	知識、経験、特技を持つ高齢者の新たな人材発掘や、ボランティア活動のきっかけをつくり、高齢者の社会参加促進を図る。	シニア	6	23	委託	対面実施	令和5年度同様通常通り実施。講師の在籍する都立大学、山野美容芸術短期大学の教室を含む3会場で開催。ボランティアに参加するきっかけづくりを求めて参加した人が多かった。受講後同期会に全員が参加するなど好評だった。広報はちおうじに大きく記事を掲載できたので、受講者数が約10人増加した。	参加者数・利用者数・利用件数等	修了者数30人/年	修了者数23人/年	A	修了者数30人/年	取組の継続	多くの方にボランティア活動のきっかけづくりの機会を提供できるように広く周知を図る。	3,282	3,281	3,890	高齢者いきいき課(ハ王子センター元気)
67	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	環境学習サポーター養成講座(川の学習サポーター養成講座)	市内小学校等で実施している環境教育支援(川の学習)の支援者を育成する。 川に関する基本的な知識を学び、市内小学校等で環境教育支援を行う人材を育成する。	どなたでも	2期計8回	8人(1期6人、2期2人)	委託	対面実施	より受講しやすいスケジュールと講義内容とした。参加者からは、「子供たちが熱心かつ楽しんでいる様子に講座に参加してよかった。受講者が少ない」との声が寄せられた。	件数参加者数・利用者数・利用件数等	参加者20名	参加者8人	B	参加者20名(R6実績:8人)	取組の継続	より多くの環境学習サポーター(川の学習サポーター)を育成し、年度内からの支援者としての活躍を目指す。	27	27	12	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人エコネットハ王子)
68	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	学校図書館ボランティア研修会	学校図書館の環境整備及び読書活動の推進に必要な技術及び知識を習得する。	どなたでも	4	50	市単独	対面実施	令和5年度までは教育センターでの集合研修会のみであったが、参加者の要望を受け、令和6年12月より学校への出張形式の小規模な研修会を新たに導入した 集合研修 1回 25人 出張研修 3回 25人 ・第一小 ・横山第二小 ・由木中央小	参加者数・利用者数・利用件数等	80人	50	B	80	取組の継続	出張形式の小規模な研修会を引き続き実施し、参加者のニーズに合う研修会を実施する。集合研修会は1回実施予定 出張研修会 6回実施予定	0	34	0	教育指導課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
							対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
69	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	NO 017	施策名	No 2-2	基本施策	日本語ボランティア養成講座	外国人市民の日本語学習支援の充実 外国人市民の日本語学習支援のための支援者を養成する講座を実施する。	外国人	3	59	委託	対面実施	例年通りで大きな変更は無し。 【実施回数】 ・日本語ボランティア基礎講座 1講座3日間×2回 ・日本語ボランティアステップアップ講座 1講座3日間×1回 【実施内容】 ・字識経験者を招き講義 ・ボランティア団体の活動紹介	参加者数・利用者数・利用件数等	55人	59人	A	55人	取組の継続	受講者募集の効果的な周知及び講座の内容の充実について検討する。	498	495	506	多文化共生推進課
			70	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	図書館ボランティア等の連携・支援	「視覚障害者等の読書環境の整備の推進に関する法律」に基づく図書館事業に関わる関係団体や、他のボランティアと連携し、図書館サービスを拡充するとともに、育成やスキルアップを支援する。	どなたでも	【実施回数】 680回	【参加者数】 1,010人	共催	対面実施	登録ボランティアが行う活動により図書館事業の推進が図られた。 ヤングパートナーズ（13歳～24歳頃）として若年層にも参加してもらい、新たな感性を取り入れるとともに若者のボランティア意識醸成にもつなげた。	その他	前年度を上回る数 【実施回数】 650回 【参加者数】 950人	【実施回数】 680/回 【参加者数】 1,010人	A	前年度と同数 【実施回数】 680回 【参加者数】 1,010人	取組の継続	引き続き、音訳や点訳、宅配、おはなし会などイベント協力など協働するとともに、ヤングパートナーズとして若年層が加わることで、図書館事業のさらなる活性化を図る。	139
71	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	手話講習会	手話通訳ボランティア・手話通訳者の養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。 初級・中級手話講習会や手話通訳者養成入門講座等を開催し、手話通訳ボランティアの養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。	若者 成年 シニア	5	75(5コースごとの実人数の合計)	指定管理者	対面実施	6名の受講生が手話通訳者全国統一試験に合格した。昼間に実施した手話通訳者養成講座入門(昼の部)は出席率が高く、11名の受講生の内6名が皆出席だった	用件数・参加者数・利用者数・利用件数等	参加者目標 1,500人	2,372人	A	参加者延べ人数 2,000人	取組の継続	聴覚障害者支援において重要な役割を果たす手話通訳者や支援者を養成していく。 令和6年度を超える全国統一試験合格者が誕生するよう、講座を展開していく	1,633	1,534	1,773	障害者福祉課
			72	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	要約筆記者養成講習会	要約筆記者の養成及び障害のある人に対する理解の促進を図る。 手話を使えない、中途失聴難聴者の通訳手段である要約筆記技術の習得、要約筆記者の養成の場として、2か年にわたって実施する。	若者 成年 シニア 通訳業務が可能な障害者の方	1	12	指定管理者	対面実施	全42回の課程で実施している。今年度はパソコン要約筆記者の養成を行った(手書き・パソコンを隔年で実施)。若い年齢層が多く受講され、今後の活躍が期待される。関係者からは決まった曜日に実施するのではなく、曜日や時間を変えることで、更に受講者が増加するのではないかとの提案をいただいた。 パソコン要約筆記者養成講習会の受講生が目撃値を超えており、市の喫緊の課題である要約筆記者の養成に寄与したため高く評価した。	参加者数・利用者数・利用件数等	受講者数 10人	受講者数 11人	S	受講者数10名	取組の継続	令和7年度は「手書き」要約筆記者の養成を行う。 全国統一要約筆記者認定試験の合格基準に達しなかった方たちに対する対策講座なども実施したい	1,550
73	講座・教室	社会貢献活動	017	地域で活躍するボランティアの養成・支援	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	災害ボランティアリーダー養成講座	災害ボランティアセンターの運営に協力いただく災害ボランティアリーダー(市民ボランティア)を養成するために講座を実施する。	どなたでも	1	31人 (養成講座:14人、フォローアップ講座:17人)	補助	対面実施	訓練を含め全4回の講座を実施した。例年平日の日中に実施をしていたが、学生や若い年代の参加者を増やすために時間を夜間の変更し実施した。今回修了した方をリーダーとして能登半島の復興支援活動も実施した。	等参加者数・利用者数・利用件数	養成講座:15人 フォローアップ講座:20人 運営訓練:120人	養成講座:14人 フォローアップ講座:17人 運営訓練:193人	A	養成講座:20人 フォローアップ講座:40人 運営訓練:160人	取組の継続	令和6年能登半島における大規模災害では、災害ボランティアセンターの運営は外部の応援により行われていた。災害ボランティアセンターの運営において、災害ボランティアリーダーの人数を増やすことは重要であり、協力者を増やしていけるよう講座を継続実施する。またフォローアップを充実させ、実施できるボランティアリーダーを養成していく。	—	—	—	社会福祉協議会市民力支援課(福祉政策課)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開		未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
			NO	施策名	No	基本施策																				
74	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	はちおうじ出前講座	市職員等が地域の団体等へ出向き、担当業務に関して専門知識を活かした講座を行うことで、市民の生涯学習活動を支援し、意識の向上を図るとともに、市政に対する理解を深める。	どなたでも	1,731	132,609	共催	どちらの実施方法	用意した128種類の講座について、1,731件の受講申込があり132,609名が受講した。(前年度は133種類の講座に対し2,145件の受講申込があり130,331名が受講)依頼者の希望に応じながら、様々な講座を提供することができた。	数等参加者数・利用者数・利用件数	利用者数150,000人以上	132,609人	A	利用者数150,000人以上	取組の継続	市民の多様な学習ニーズに応えられるよう、講座提供先の開拓に努める。	—	—	—	学習支援課	
75	講座・教室	教育的なもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	生きもの展示室での環境教育(旧エコひろばでの環境教育)	環境について関心を持つきっかけづくりとして、環境教育・環境学習の講座を実施する。	どなたでも	ordinary program(予約不要の環境教育講座)43回 環境学習講座18回	ordinary program(予約不要の環境教育講座)691名 環境学習講座211名 合計902名	指定管理者	対面実施	回数は、45回増加し、参加人数は680名増加した。講座の一つを魅力的なものとするため内容を精査し、集客に努力した。また、生きもの展示室1周年記念イベントを開催し、8月10日～8月25日の期間で、合計16講座を開催し、435名が参加した。	参加者数・利用者数・利用件数等	参加者400名以上	参加者902名	A	前年度以上の参加者数(R6実績:902人)	取組の継続	環境教育講座の数と内容の充実およびordinary program(予約不要の環境教育講座)へ参加を促進。	12,580	12,580	12,605	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池)	
76	講座・教室	社会問題・市民生活に関するもの	018	地域の課題解決につながる学びの提供	6-2	環境負荷の少ないまちづくり	クールセンター八王子での省エネ講座等	地球温暖化対策に関する普及啓発 地球温暖化対策に興味を持ち、実践につなげられるように、講座を実施する。	どなたでも	73	4,432	委託	対面実施	過去の実績を踏まえ、より参加者のニーズに応じた内容に更新し、桑都ペイポイントも導入して集客に努力した結果、回数は27回増加、参加人数は1,147人増加した。参加者からは、環境にやさしく学びになる内容でインセンティブもあって嬉しいといった意見を得られた。	普及・啓発等	前年度と同等以上(R5実績:3,285人)	回数:73回 参加者数:4,432人	A	前年度と同等以上(R6実績:4,432人)	取組の継続	2050年度のゼロカーボンシティ実現および2030年度の市内温室効果ガス排出量削減目標46%(2013年度比)の達成に向けて、幅広い市民の参加促進に向けた講座等を実施する。	21,605	21,605	21,804	環境政策課(委託先:特定非営利活動法人エヌピーオー・フュージョン長池)	
77	講座・教室	健康・スポーツ	018	地域の課題解決につながる学びの提供	2-3	保健医療の充実	健康づくりサポーターの養成	地域で広く健康に関する知識を普及・啓発する健康づくりサポーターを養成、フォローする。 地域介護予防活動支援事業として、広く健康に関する知識の普及、運動(八王子けんこう体操等)、体力測定 of 介護予防の活動を推進するため、健康づくりサポーターの養成を行う。	どなたでも	養成講座1 フォロー講座10	養成講座17 フォロー講座50 大横44 東浅川33 南大沢49 いきいき30	市単独	対面実施	隔年で新規養成を行っており、令和6年度は養成講座を実施し17名を新規登録とした。スキルアップを目的としたフォロー講座は年間10回実施し、延べ206名が参加した。また、健康情報や活動場所の情報提供を行い、活動支援を行った。	参加者数・利用者数・利用件数等	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	75%	A	健康づくりサポーターの活動状況「活動あり」65%以上	取組の継続	関係所管と連携し、健康づくりサポーターのスキルアップおよび活動支援を行う。地域活動だけでなく、介護予防サービス事業への関わりなど活動の場が広がっているため、組織横断的な取り組みを充実させる。	保健総務514 大横62 東浅川46 南大沢59 いきいき-	保健総務249 大横34 東浅川46 南大沢44 いきいき-	健康づくり推進240 大横64 東浅川47 南大沢60 いきいき-	保健総務課(大横保健福祉センター)(東浅川保健福祉センター)(南大沢保健福祉センター)(高齢者いきいき課)	
78	講座・教室	仕事に必要な知識技能、資格の取得	018	地域の課題解決につながる学びの提供	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	介護人材養成研修	市内介護事業所における介護人材確保の促進 市内介護サービス事業所等への就労希望者を対象に、介護職に必要な知識・技術を学ぶ「介護に関する入門的研修」及び「生活支援ヘルパー研修」を実施する。合わせて就職相談会を実施し、介護人材の確保を図る。	どなたでも	5回	受講者数99人	委託	対面実施	「介護に関する入門的研修」及び「生活支援ヘルパー研修」について、従来の対面形式での実施に加えて、令和6年度はオンライン形式も加えて実施した。	参加者数・利用者数・利用件数等	①修了者数110人/年 ②マッチング数15人/年	①修了者数99人/年 ②マッチング数5人/年	B	①修了者数110人/年 ②マッチング数15人/年	改善・見直しの実施	「介護に関する入門的研修」については、就労希望者以外にも対象を拡大し、「介護の基礎講座(仮)」としてカリキュラムの見直しを行う。在宅介護者を含めて介護に関する知識の習得者を増やすことで、広く介護人材の確保につながる。生活支援ヘルパー研修については、就職相談会を別の介護に関する就労マッチングイベントと合同で開催する。修了生の就労先の候補を増やすことで、マッチング数の増加を狙う。	9,570	5,769	7,000	高齢者いきいき課	

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開		未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
79	イベント等	趣味的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習フェスティバル	市民の生涯学習活動のきっかけづくりと、市民交流の場を提供すること。 日頃の学習成果を作品展示やステージを通して発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動を行うきっかけづくりと、学びを通じた市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	2,726人	共催	対面実施	ステージ発表については、定数を大きく上回る応募があったため、当初の予定より参加団体定数を増やし計20団体が参加した。また、参加者数は昨年度より増加し、延べ2,726人が参加した。	等事業の再構築・充実・拡大	延べ来場者数2,500人以上	2,726人	A	延べ来場者数2,500人以上	取組の継続	クリエイティブステージとの事業統合により、これまで生涯学習フェスティバルに参加していた団体に加え、新たな層を取り込み、開催内容の充実と参加者の多様化・増加を目指す。	33	32	33	学習支援課
80	イベント等	教育的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	3-2	未来をひらく子どもを育てる教育	八王子市立小・中・義務教育学校合同作品展「おあるり展」	児童・生徒の作品の発表を通して、豊かな心情を培い、創造的な能力の向上を図る。	どなたでも	1	11,325	市単独	対面実施	参加者数に大きな変動は無く、前年度と同様であった。アンケート結果では、感動した、素晴らしいかった等の意見が多く、目標値のとおりに参加者の満足度は高かった。	参加者の満足度	来場者の満足度を99%以上とする。(アンケート結果でとても良かった・よかったと回答した割合)	99.60%	A	来場者の満足度を99%以上とする。(アンケート結果でとても良かった・よかったと回答した割合)	取組の継続	引き続き、多くの児童・生徒の作品を展示できること、多くの保護者等に来場していただくことを目標に計画し実施する。	3,447	2,999	3,812	学務課
81	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	市民センターまつり	地域コミュニティ拠点の市民センターで、住民協議会による市民センターまつりを開催し、コミュニティ活動の育成・活性化を目指す。	どなたでも	18	75,300	補助	対面実施	参加者は前年比1割増となった。市民センターでは各住民協議会の尽力により、センター祭り以外にも文化祭や七夕まつり、つるし雛祭りなどのイベントが活発に行われており、順調に地域コミュニティ活動が展開されている。	数等参加者数・利用者数・利用件数	18センターまつり等の令和5年度参加者、来場者数64,582人超	75,300人	A	18センターまつり等の参加者、来場者数。前年度75,300人超	取組の継続	各地域ごとに異なる課題を見据えて、引き続き活発な地域コミュニティ活動を展開する。	14,854	14,346	16,584	協働推進課 (住民協議会)
82	イベント等	趣味的なもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	南大沢総合センターまつり・川口やまゆり館まつり(改修工事により休館のため開催せず。)	学習意欲の増進、市民(利用者)同士の交流による地域活性化 生涯学習センターを利用している団体と協働して日頃の学習の成果を発表する機会を設け、市民の交流の場を提供するとともに、地域の活性化につなげる。	どなたでも	1	1,400人	市単独	対面実施	川口やまゆり館まつりは改修工事による休館のため開催せず。南大沢総合センターまつりの参加団体は22団体で、前年より3団体減少したが、多くの利用団体に声掛けしたこともあり新規参加も2団体あった。来場者は前年を約300人上回る1400人の来場があった。	参加者数・利用者数・利用件数等	15～35団体の参加	22団体の参加	A	35～45団体の参加	取組の継続	より多くの団体に日頃の学習成果を発表する機会を提供していく。	0	0	0	学習支援課
83	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	八王子まつり	地域文化の創造と継承、市民相互の連帯と融和、観光都市八王子のイメージの高揚を図る。	どなたでも	1	800,000	実行委員会	対面実施	1日目に西放射線ロードを含む一帯にて面的規制を実施したが、規制実施の決定が遅れたことと満足に周知ができなかったことにより、急遽人員配置の変更を行った。課題が残る形となったが、大きな事故なく終わることができた。また、猛暑対策も行い、安全に実施することができた。	事業の再構築・充実・拡大等	多くの観客や参加者で賑わうため、雑踏警備や猛暑対策を万全に行い、安全にイベントが実施できるようにする。	1日目に西放射線ロードを含む一帯にて面的規制を実施した。猛暑対策も行い、大きな事故なく実施することができた。	A	多くの観客や参加者で賑わうため、雑踏警備や猛暑対策を万全に行い、安全にイベントが実施できるようにする。	取組の継続	会場沿道町会や各行事団体、警察等公的団体の協力を得て開催。また、観客や参加者の安全が最優先課題。雑踏対策は警察署・交通安全協会・警備業者と連携して、交通規制や自主警備体制を含む対策を協議していく必要がある。猛暑対策についても消防署・消防団等と連携して安全体制を構築する。	47,995	47,995	49,768	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・八王子まつり実行委員会)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開		未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 評 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
84	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	No 1-1	基本施策 市民自治の推進	八王子いちよう祭り	有志市民によるまつりで、地域の発展と自然と心のふれあう地域文化の社会的な広がりを目指す。	どなたでも	1	401,000	実行委員会	対面実施	車のパレードは実施しなかったが、姉妹都市50周年記念の祝賀パレードとして甲州街道でのパレードを行った。御陵参道など各会場で通常規模のイベントを実施できた。陵南公園分園の遊具の改修が行われたため、出店ブースの配置の変更を行った。大きな事故もなく無事に開催することができた。	事業の再構築・充実・拡大等	八王子市・吉小牧市・日光市姉妹都市盟約50周年記念事業を八王子市と連携して実施する。	A	昭和100年記念事業を実施する。	取組の継続	各イベントと記念事業について、観客や参加者の安全を確保しつつ、地元町会や各団体と協働し開催する。	6,400	6,400	6,400	協働推進課 (八王子いちよう祭り祭典委員会)		
			019	学習成果の発表と学びの広がり	1-1	市民自治の推進	フラワーフェスティバル由木	由木地域の活性化とコミュニティづくりを図る。	どなたでも	1	130,000	実行委員会	対面実施	コロナが5類に移行して初めての通常開催であり、バザールの一般飲食募集を再開した。ステージ出演申込団体が増加したが、インターバルを短縮することで全団体の出演を可能とした。また、レクリエーション協会による子ども流鏑馬とボニーのえさやり体験が実施された。	事業の再構築・充実・拡大等	令和元年度以来の通常規模での開催を目標とする。	コロナ禍以前と同等規模で通常開催できた。	A	安全にイベントが実施できるようにする。	取組の継続	由木地域の町会自治会、3住民協議会が主体となり開催する。また、設営や警備、物品購入等の経費が全体的に値上がりしており、財政的に厳しい状況である。観客や参加者の安全を確保しつつ、経費節減と新規協賛の獲得に努める。	4,783	4,783	4,911	協働推進課 (学園都市文化ふれあい財団・フラワーフェスティバル由木祭典委員会)	
86				#N/A		#N/A	八王子城跡まつり（令和3年度で事業廃止）																			
87	イベント等	家庭生活	019	学習成果の発表と学びの広がり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活フェスティバル	食・環境・暮らし・安全安心・消費者被害対策などの消費生活に関する啓発	どなたでも	1	512	共催	対面実施	消費生活フェスティバルに合わせ、エンカル消費の啓発に向けた東京都との共催講座を開催した。事前周知を昨年度より工夫し、回数を増やしたこと、初めて桑都ペイを導入し、アプリ内周知やポイント付与を実施したことが、参加者が昨年度を大きく上回った要因と考えられる。	参加者の満足度	参加者の90%以上が高評価	98%	A	アンケート回答者のうち、消費生活センターの認知度が75%以上	取組の継続	【課題】消費者団体及び来場者数の増 【方向】消費者団体相互間の交流を図るとともに、広報・HP・SNS等の情報発信にも工夫を凝らし、消費生活フェスティバルを通じて、消費生活センターの認知度を高める。	120	121	132	消費生活センター	
			019	学習成果の発表と学びの広がり	2-3	保健医療の充実	健康フェスタ・食育フェスタ	子どもから大人まで楽しみながら、健康や食育について学べる場と市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	延べ17167名	実行委員会	対面実施	会場をエスフォルタアリーナから東京たま未来メッセに変更したこと、会場の利便性が向上し、協賛企業・参加者ともに増加した。参加者が増加したことでイベント自体も盛り上がり、好評の声が多かった。	数参加者数・利用者数・利用件	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	90%	A	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	取組の継続	東京たま未来メッセで開催する2年目であるため、昨年以上の多くの来場者に健康情報の普及・啓発を図る。	2,730	2,730	2,843	保健総務課	
88	イベント等	健康・スポーツ	019	学習成果の発表と学びの広がり	2-3	保健医療の充実	健康フェスタ・食育フェスタ	子どもから大人まで楽しみながら、健康や食育について学べる場と市民交流の場を提供する。	どなたでも	1	延べ17167名	実行委員会	対面実施	会場をエスフォルタアリーナから東京たま未来メッセに変更したこと、会場の利便性が向上し、協賛企業・参加者ともに増加した。参加者が増加したことでイベント自体も盛り上がり、好評の声が多かった。	数参加者数・利用者数・利用件	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	90%	A	来場者アンケートで「健康づくりのきっかけとなった」と回答する人の割合 90%以上	取組の継続	東京たま未来メッセで開催する2年目であるため、昨年以上の多くの来場者に健康情報の普及・啓発を図る。	2,730	2,730	2,843	保健総務課	

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開		未来デザイン2040 都市像・基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
									対象者	回数	参加者数(人) 等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標 評価	令和6年度目標値	目標値に 対する 実績値	評価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
			NO	施策名	No	基本施策																			
89	イベント等	社会問題・市民生活に関するもの	019	学習成果の発表と学びの広がり	6-1	一人ひとりが考え、ともに守る環境	八王子環境フェスティバル	市民の環境に対する意識の高揚と自発的な活動の促進。 環境の保全についての関心と理解を深め、環境保全活動への参加意欲を高めることを目的とし、日々の学習成果を発表する機会を設け、市民の自発的な学習活動のきっかけづくりと、学びを通じた交流の場を提供する。	どなたでも	1	15,000	実行委員会	対面実施	6/9(日)に東京たま未来メッセ、えきまえテラスで開催した。たま未来メッセのガラスを全面開放し、えきまえテラスを活用したことで、会場が一体となったことも影響してか、昨年比5,000人増の15,000人の来場者となった。出展団体からは「また次回もぜひ参加したい」との声を多くいただいた。	その他	1回開催	1回開催	A	前年度と同等以上(R6実績:15,000人)	取組の継続	6/15(日)に東京たま未来メッセ、えきまえテラスで開催する。	700	700	700	環境政策課(八王子環境フェスティバル実行委員会)
90	イベント等	青少年育成・体験活動	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	こども将棋大会	日本の伝統文化である「将棋」に親しみ、大会を通じてコミュニケーションや礼儀作法の修得など、子どもたちの健全育成を図る。	子ども	1(中止)	—	委託	対面実施	台風の影響により中止	等者参加者数・利用者数・件数利用	参加者100人以上	—	評価なし	参加者100人以上	取組の継続	中学生の応募が毎年少ないので、その年代にアピールする方法を工夫する。	545	387	473	学習支援課
91	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民スポーツ大会	スポーツにおける市民の日頃の練習の成果を発揮できる場を提供し、競技の普及、競技力の向上を図る。	どなたでも	83	14,548	委託	対面実施	荒天により開会式は中止となったが、各競技は予定通り実施することができた。夏場に実施する競技は熱中症対策に十分注意するように呼び掛けることで、事故無く実施することができた。	用参加者数等数・利用者数・利用件	17,000	14,548	A	17,000	取組の継続	目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	3,178	2,763	3,129	スポーツ振興課
92	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民レクリエーション大会	市民が日頃のレクリエーション活動の成果を発揮する場と、それらを観る機会を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	1	500	委託	対面実施	開会式、各競技を予定通り実施することができた。昨年度より参加者が増えて、フラダンスやマジックなど、計10団体が出場した。また、例年出場している団体に加え、新規団体が半数出場し、会場も様々な演目で盛り上がりを見せた。	数参加者数・利用者数・利用件	1000	500	B	1,000	取組の継続	目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	716	716	1,022	スポーツ振興課
93	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	市民スポーツレクリエーション大会	スポーツ・レクリエーション活動における市民の日頃の練習の成果を発揮する場を提供し、市民の生涯学習活動を支援する。	どなたでも	23	2,499	委託	対面実施	総合開会式、各競技を予定通り実施することができた。八王子発祥のネオデニス、親子で参加できるデイクャンプなど、八王子の特色を活かした種目をはじめ、13種目を実施した。	用参加者数等数・利用者数・利用件	3,000人	2,499	A	3,000	取組の継続	目標値に近づけるよう、引き続き開催に関する周知を行う。	426	426	426	スポーツ振興課
94	イベント等	健康・スポーツ	020	日頃の成果の発揮と学ぶ意欲の醸成	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	全関東八王子夢街道駅伝競走大会	健康の増進、生きがいの高揚、社会参加の促進、参加者間の交流などを支援する。 公道がコースとなる駅伝では日本最大級の大会として、八王子市の魅力を市内外へ発信し、スポーツの振興と地域の活性化を図る。	どなたでも	1	2,008	実行委員会	対面実施	スタートを3回に分けているが、スタート時間を見直すことにより選手にとっても交通規制時間についてもメリットとなるように調整した。また、申込方法の簡素化を図る等、参加選手のメリットになる変更により大会への参加促進に繋がり、コロナ前の申込数まで増加した。	等参加者数・利用者数・利用件数	2,000人	2,008人	A	2,000人	取組の継続	イベントとしての商品価値を向上させる取り組みを行い、スポンサー企業や参加者に選ばれ続ける大会を目指す。	27,786	27,786	28,840	スポーツ振興課

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
							対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
95	講座・教室	教養的なもの	021	高校生・大 学生等と 地域が つなが る、地 域でい かす	3-3	基本施策 学びを活かせる生涯学 習の推進	大学生等 が参画す る生涯学 習センター 講座の実 施	大学生等の知識や大学等の 有する設備を活用した講座 を地域の大学等と協働で実 施し、市民の学習機会の一層 の充実を図る。	若者	2	16	市単独	対面 実施	東京工科大学との共催 で論理的思考力を高め、 創造性や想像性を 養うことを目的に「夏 休みプログラミング講 座」を実施。学生に助手 を依頼し、子どもたち にプログラミングを体 験する機会を提供し た。 参加者からは「プロ grammingに興味が高 まった。」等の感想が聞 かれた。	参 加 者 の 満 足 度	満足度85% 以上	100%	A	満足度85%以上	取組の 継続	引き続き大学生等が参画する講 座を実施し、市民の学習機会 の一層の充実を図っていく。	—	—	—	学習支援課
			021	高校生・大 学生等と 地域が つなが る、地 域でい かす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	ビッグウ ェスト学 生フェス ティバル	八王子市学園都市推進会議 主催で学生フェスティバル委 員会により開催し、学生同士 や市民の人たちとの交流を 図る。	どなた でも	1回	学生324人、 作品数108 来場者629人	補助	対面 実施	例年通りの内容で開催 した。昨年度に比べて、 学生の参加人数が42 人増加した。 【実施内容】 学園都市センター11F ギャラリーホールで書 道展や美術展を、12F イベントホールでは学 生音楽祭を実施。 参加者からは「学生の 熱意が伝わる素晴らしい イベントだった。」との 声が寄せられた。	普 及 ・ 啓 発 等	新規参加団体 2団体	新規参加団体 3団体	A	新規参加団体 2団体以上	取組の 継続	例年通りの内容で開催する。	2,100	2,058	2,200	学園都市文 化課(学園 都市文化 ふれあい財 団・大学コ ンソーシア ム八王子)
96	イベント等	社会貢献活動	021	高校生・大 学生等と 地域が つなが る、地 域でい かす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	★学生天 国★	学生同士及び日頃学生と関 りが少ない市民の方々との 交流を図る。 大学コンソーシアム八王子加 盟25大学等の学生で構成 する学生委員会により開催し、 学生同士や市民の人たち との交流を図る。	どなた でも	1回	参加団体数(19 大学等49団 体)、来場者数 17,824人	補助	対面 実施	従来の放射線、隣接す る公園、学園都市セ ンターのほかに、えき まエテラスを開催場所 に加え、多くの方が楽し んでいる様子がうかが えた。	普 及 ・ 啓 発 等	40団体	49団体	A	42団体以上の参 加	取組の 継続	令和7年度は、当事業が20回目を 迎えるため、特別企画を実施 する。	2,588	2,586	2,588	学園都市文 化課(学園 都市文化 ふれあい財 団・大学コ ンソーシア ム八王子)
			021	高校生・大 学生等と 地域が つなが る、地 域でい かす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	学生企画 事業への 支援	大学コンソーシアム八王子加 盟25大学等の学生が、八王 子地域を舞台にイベント等を 企画・運営・実施する際に、支 援する。	大学コン ソーシ アム八 王子に 加盟す る大学 等に在 籍する 5名以 上の学 生	1回	13件(11大学 等12団体)	補助	対面 実施	13団体に活動費用の 一部を補助した。成果 報告会では、高校生に よる提案発表とポス ター展示を合同開催 し、学生同士や事業関 係者に限らず、多くの 高校生と大学生が交流 した。	等事業 の再構 築・充 実・拡 大	6件	13件	A	10団体以上の採 択団体	取組の 継続	採択団体が企画した事業を確 実に実施することができるよ うに、現状把握を適宜行う。 また、来年度も「高校生による まちづくり提案発表会」と合同 で成果報告会を行う上で、高 校生と大学生双方が、合同で 行うメリットを感じることが できるようにする必要がある。	2,094	1,481	1,838	学園都市文 化課(学園 都市文化 ふれあい財 団・大学コ ンソーシア ム八王子)
98	その他	社会問題・市民生活に 関するもの	021	高校生・大 学生等と 地域が つなが る、地 域でい かす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	学生発表 会	大学コンソーシアム八王子加 盟25大学等の学生が日頃の 研究成果を市民・企業・市政 などに向けて発表する。	大学コン ソーシ アム八 王子の 加盟す る大学 等の学 生	1回	発表件数 313件	補助	対面 実施	口頭発表セッション、ポ スター・展示セッション 及び提案セッションに よる学生発表会を実施 し、過去最多の発表が あった。多文化共生、防 災、福祉、観光振興、環 境、教育など、幅広い 分野に渡る社会課題・ 地域課題についての提 案があり、学外発表の 機会として活発な交流 が行われた。	事 業 の 再 構 築・ 充 実 ・ 拡 大	303件	313件	A	313件以上の発 表	取組の 継続	今年度のポスター発表の参加 数を踏まえて検討をしたところ 、ポスターを半日で入れ替える ことにより、より多くの参加 数に対応することができる結 果に至った。それに伴い、展 示発表も実施することができ る結果に至った。そのため、 ポスター半日入れ替え、展 示発表という新たな試みを実 施するために、運営方法を検 討する。	1,456	1,159	1,430	学園都市文 化課(学園 都市文化 ふれあい財 団・大学コ ンソーシア ム八王子)
			021	高校生・大 学生等と 地域が つなが る、地 域でい かす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	学生発表 会	大学コンソーシアム八王子加 盟25大学等の学生が日頃の 研究成果を市民・企業・市政 などに向けて発表する。	大学コン ソーシ アム八 王子の 加盟す る大学 等の学 生	1回	発表件数 313件	補助	対面 実施	口頭発表セッション、ポ スター・展示セッション 及び提案セッションに よる学生発表会を実施 し、過去最多の発表が あった。多文化共生、防 災、福祉、観光振興、環 境、教育など、幅広い 分野に渡る社会課題・ 地域課題についての提 案があり、学外発表の 機会として活発な交流 が行われた。	事 業 の 再 構 築・ 充 実 ・ 拡 大	303件	313件	A	313件以上の発 表	取組の 継続	今年度のポスター発表の参加 数を踏まえて検討をしたところ 、ポスターを半日で入れ替える ことにより、より多くの参加 数に対応することができる結 果に至った。それに伴い、展 示発表も実施することができ る結果に至った。そのため、 ポスター半日入れ替え、展 示発表という新たな試みを実 施するために、運営方法を検 討する。	1,456	1,159	1,430	学園都市文 化課(学園 都市文化 ふれあい財 団・大学コ ンソーシア ム八王子)

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策		事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)		
								対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 評 標 価	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由							
100		イベント等	教育的なもの	NO 021	施策名 高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	No 3-3	基本施策 学びを活かせる生涯学 習の推進	八王子学 生CMコン テスト	学園都市八王子の特色を活 かし、学生ならではの視点で 八王子市の魅力を動画CM にした作品を募集し、コンテ ストを開催する。	学生(大 学院・大 学・短 大・高 専・専門 学校)	1回		応募作品数41 作品	補助	対面 実施	上映会では、作品制作 者が作品の見どころを 紹介するなど、学生の 主体性を高める形式に 変更した。 総務省が主催する「関 東デジタルコンテンツ・ アワード2024」に八 王子学生CMコンテス トの受賞作品を推薦。 その結果、多摩美術大 学 奥山樹生さんの作 品「大久保長安のうた」 が関東総合通信局長賞 を受賞。	参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 件 数 等	加盟校 13校	12校	A	応募する加盟校 数 10校以上	取組の 継続	本コンテスト開始以降、初めて募 集テーマを変更する。例年通りの 応募件数を確保するために、 様々な情報提供を行う。ウェブサ イトの充実などの工夫を図る。	2,084	1,793	1,606	学園都市文 化課(学園 都市文化ふ れあい財 団・大学コ ンソーシア ム八王子)
				021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	二十歳を 祝う会	大人としての責任の自覚を 促すとともに、新しく成人と なった若者を祝い、励ます。 成人式(令和4年度から「二十 歳を祝う会」)の開催に当 たって、大学生等を中心とし た実行委員会を立ち上げて 企画運営に参画するととも に、ボランティアの方と運営 に参画することにより、式典 を協力してつくりあげる社会 経験の場とする。	成年	2	3,642人	共催	ど ち ら も 実 施	令和5年度と同様に地区 ごと2回に分けて実 施。また、式典の様子を 収録した映像を後日市 の公式YouTubeチャ ンネルに公開すること で、来場者の参加の選 択肢を増やすことがで きた。また、来場者アン ケートで「大いに満足」 「満足」と答えた割合は 式典の部で85%、アト ラクションの部で 100%となり、高い満 足度を得ることができ たとと言える。	参 加 者 の 満 足 度	多世代・地域 と協働して二十 歳を祝う会を 開催し、対 象者に社会人 としての自覚 を促す。	実行委員やボラ ンティアと ともに二十歳 を祝う会を開 催することが できた。	A	多世代・地域と協 働して二十歳を 祝う会を開催し、 対象者に地域へ の誇りと愛着を 促し、郷土愛の醸 成を図る。	取組の 継続	アトラクション内容のさらなる充 実を図り、来場者の満足度向上 を目指すとともに、より円滑な式 典運営に努める。	3,101	2,109	2,288	学習支援課	
101		イベント等	青少年育成・体験活動	021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	八王子市 内高等学 校吹奏楽 フェスティ バル	音楽教育の振興と市民文化 の向上を図るとともに、市内 高等学校の演奏力の向上を めざす。 市内高等学校吹奏楽フェス ティバルを高校生による運営 とすることで、青少年の音楽 活動の成果発表の場を確保 するとともに、イベント開催 に参画する機会を提供する。	高校生	1	市内高等学校 参加：9校 来場者数： 2,300名	共催	対面 実施	令和6年度は、インフル エンザの学級閉鎖によ る直前の欠場が3校 あったため、当初の予 定より参加校が減少し た。また、引き続き企業 の協力により特別番組 の放映を行い、より多 くの市民の関心を集め ることができた。	数参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 件	2,000名	2,300名	A	2,000名	取組の 継続	共催団体である八王子市内高等 学校吹奏楽連絡協議会、企業と 連携を取りながら、青少年の音 楽活動の成果発表の場を提供し ていく。	459	306	459	学習支援課	
				021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-1	全ての子どもが健やか に育つ地域づくり	こどもシ ティ	イベントの企画準備運営の主 軸を中高生が行うことで、中 高生に地域のイベントプロ デューサー的な体験を与え る。単に中高生の満足のため だけではなく、地域住民との 交流・協力を図っていく。ま た、小学生には就業体験を与 える。 子どもたちが、社会性や協調 性を育む機会に、学生と地域 が参加し、交流活動を行う。	子ども	6回	1902人	市単独	対面実 施	コロナ禍を経て参加人 数が増加の傾向がある。 実行委員として小学 生・中学生の参加や、当 日のボランティアス タッフとして、大学生や 地域の青少対、民生委 員等が継続的に参加を している。 八王子オクトーレでは、 実際の店舗での就労体 験をした保護者から感 謝の声を聞いている。	事 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡 大 等	6回	6回	A	6回	取組の 継続	子ども・若者育成支援センター (旧児童館、愛称「はちびバ」) のない地域での実施をしているた め、移設を含めた適した会場の 選定	624	538	619	青少年若者 課(子ども ・若者育成 支援センター)	
102		イベント等	趣味的なもの	021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-3	学びを活かせる生涯学 習の推進	八王子市 内高等学 校吹奏楽 フェスティ バル	音楽教育の振興と市民文化 の向上を図るとともに、市内 高等学校の演奏力の向上を めざす。 市内高等学校吹奏楽フェス ティバルを高校生による運営 とすることで、青少年の音楽 活動の成果発表の場を確保 するとともに、イベント開催 に参画する機会を提供する。	高校生	1	市内高等学校 参加：9校 来場者数： 2,300名	共催	対面 実施	令和6年度は、インフル エンザの学級閉鎖によ る直前の欠場が3校 あったため、当初の予 定より参加校が減少し た。また、引き続き企業 の協力により特別番組 の放映を行い、より多 くの市民の関心を集め ることができた。	数参 加 者 数 ・ 利 用 者 数 ・ 利 用 件	2,000名	2,300名	A	2,000名	取組の 継続	共催団体である八王子市内高等 学校吹奏楽連絡協議会、企業と 連携を取りながら、青少年の音 楽活動の成果発表の場を提供し ていく。	459	306	459	学習支援課	
				021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-1	全ての子どもが健やか に育つ地域づくり	こどもシ ティ	イベントの企画準備運営の主 軸を中高生が行うことで、中 高生に地域のイベントプロ デューサー的な体験を与え る。単に中高生の満足のため だけではなく、地域住民との 交流・協力を図っていく。ま た、小学生には就業体験を与 える。 子どもたちが、社会性や協調 性を育む機会に、学生と地域 が参加し、交流活動を行う。	子ども	6回	1902人	市単独	対面実 施	コロナ禍を経て参加人 数が増加の傾向がある。 実行委員として小学 生・中学生の参加や、当 日のボランティアス タッフとして、大学生や 地域の青少対、民生委 員等が継続的に参加を している。 八王子オクトーレでは、 実際の店舗での就労体 験をした保護者から感 謝の声を聞いている。	事 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡 大 等	6回	6回	A	6回	取組の 継続	子ども・若者育成支援センター (旧児童館、愛称「はちびバ」) のない地域での実施をしているた め、移設を含めた適した会場の 選定	624	538	619	青少年若者 課(子ども ・若者育成 支援センター)	
103		イベント等	青少年育成・体験活動	021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-1	全ての子どもが健やか に育つ地域づくり	こどもシ ティ	イベントの企画準備運営の主 軸を中高生が行うことで、中 高生に地域のイベントプロ デューサー的な体験を与え る。単に中高生の満足のため だけではなく、地域住民との 交流・協力を図っていく。ま た、小学生には就業体験を与 える。 子どもたちが、社会性や協調 性を育む機会に、学生と地域 が参加し、交流活動を行う。	子ども	6回	1902人	市単独	対面実 施	コロナ禍を経て参加人 数が増加の傾向がある。 実行委員として小学 生・中学生の参加や、当 日のボランティアス タッフとして、大学生や 地域の青少対、民生委 員等が継続的に参加を している。 八王子オクトーレでは、 実際の店舗での就労体 験をした保護者から感 謝の声を聞いている。	事 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡 大 等	6回	6回	A	6回	取組の 継続	子ども・若者育成支援センター (旧児童館、愛称「はちびバ」) のない地域での実施をしているた め、移設を含めた適した会場の 選定	624	538	619	青少年若者 課(子ども ・若者育成 支援センター)	
				021	高校生・大 学生等と地域 がつながる、 地域でいかす	3-1	全ての子どもが健やか に育つ地域づくり	こどもシ ティ	イベントの企画準備運営の主 軸を中高生が行うことで、中 高生に地域のイベントプロ デューサー的な体験を与え る。単に中高生の満足のため だけではなく、地域住民との 交流・協力を図っていく。ま た、小学生には就業体験を与 える。 子どもたちが、社会性や協調 性を育む機会に、学生と地域 が参加し、交流活動を行う。	子ども	6回	1902人	市単独	対面実 施	コロナ禍を経て参加人 数が増加の傾向がある。 実行委員として小学 生・中学生の参加や、当 日のボランティアス タッフとして、大学生や 地域の青少対、民生委 員等が継続的に参加を している。 八王子オクトーレでは、 実際の店舗での就労体 験をした保護者から感 謝の声を聞いている。	事 業 の 再 構 築 ・ 充 実 ・ 拡 大 等	6回	6回	A	6回	取組の 継続	子ども・若者育成支援センター (旧児童館、愛称「はちびバ」) のない地域での実施をしているた め、移設を含めた適した会場の 選定	624	538	619	青少年若者 課(子ども ・若者育成 支援センター)	

【基本施策2】(番号50～107、57事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)	
							対象者	回 数	参加者数(人) 等	実施 形態	実施 方法	令和6年度の実施状況 や昨年度との比較・変 更点、参加者の声	指 標 価 値	令和6年度目 標値	目標値に 対する 実績値	評 価	令和7年度目標 値	方向性	令和7年度の 課題と方向 廃止・休止の場合はその理由						
104	講座・教室	教養的なもの	022	施策名 若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	No 3-1	基本施策 全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	支援を必要とする若者の学び直しの場の提供	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しの機会を提供し、社会的自立の支援を行う。 ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する、学びの継続や学び直しに向けた活動の場として、主に対人関係に慣れるためのプログラム活動を提供する。	若者	176	911	委託	対面実施	年間を通じて「ペン字セミナー」や「お金の基本講座」、「対人技能講座」といった学びなおしや対人関係になれるためのプログラムを企画提供し、回数、参加者数ともに増加した。	参加者数・利用者数・利用件数等	140	176	A	140	取組の継続	相談機関が自前の多様なプログラム活動を企画・提供していることは希少である。この特徴を活かし、引き続き相談機関として学びなおしや対人関係に慣れるための多様なプログラムを企画・提供していく。	28,759	28,759	28,759	青少年若者課
			022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	若者が参加できるボランティア活動の充実	ひきこもりや働くことへの不安などを抱える若者に対する地域での活動機会を提供し、社会的自立の支援を行う。 地域貢献につながる活動メニューを企画・立案し、若者が参加できるボランティア活動を提供する。また、地域のボランティア活動の情報を広く提供する。	若者	76	276	委託	対面実施	昨年度実施した東町・浅川清掃ボランティア及び農園整備ボランティアに加え、こども食堂ボランティアや「1坪パン祭り」の職場体験を実施した。	普及・啓発	21	76	A	地域での活動20回	取組の継続	地域の受け入れ先との調整、当日の移動手段の確保など、手続きが煩雑となるという課題はあるが、昨年度に構築した地域との関係を継続し、可能な範囲で実施していく。	28,759	28,759	28,759	青少年若者課
105	その他	社会貢献活動	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	クリエイティブステージ	日ごろの音楽活動の成果発表の場として、40歳以下の団体・個人を対象にステージを提供するとともに、出演者・来場者間の交流を図る。	若者	1	11組93名	市単独	対面実施	11組93名が出演し、307名が来館した(前年度は15組157名が出演、317名来館)。出演者からは丁寧な運営に対して好意的な意見が寄せられた。「お客さんが少なかった」という意見もあり、広報・周知に課題が残った。	数参加者数・利用者数・利用件	15団体	11組	B	—	廃止・休止	生涯学習フェスティバルと統合して実施する。	0	0	—	学習支援課
106	イベント等	趣味的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	若者の視野が広がる教育・普及啓発	若者にとって生きるヒントが得られるような学びの機会を充実する。	若者	6	56名	市単独	対面実施	「体と息と心の調え方を学ぼう〜はじめての坐禅」等の6講座を実施し、生きるヒントが得られるような学びの機会を提供した。56名参加。 「調身・調息・調心」を整えることを目的に坐禅講座を開催。 20代以下の方から70代までの幅広い年齢層の参加があった。また感想でも「一度坐禅をやってみたかった。丁寧にわかりやすく教えてもらってよかった」等とても好評だった。	事業の再構築・充実・拡大等	10講座	6講座	B	10講座	取組の継続	より多くの若者が参加し、生きるヒントが得られるような内容の講座を実施していく。	—	—	—	学習支援課
107	講座・教室	教養的なもの	022	若者の社会的自立に向けた、学びによる支援																					

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040 都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和6年度 予算 (千円)	令和6年度 決算 (千円)	令和7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)		
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標評価	令和6年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由							
108	講座・教室	趣味的なもの	NO 023	施策名 学びへの新たな参加を促す取組	No 3-3	基本施策 学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習しえんねっと講座	学習支援委員が合同講座「しえんねっと講座」を開催することにより、市民に生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供し、新たな参加を促す。	どなたでも	1	77名	共催	対面実施	学習支援委員の得意分野を活かした「はじめてのアロマテラピー～エコな芳香剤をつくろう～」If ChatAIを使った世界旅行と各国料理」「親子で白玉団子作り～お団子で絵を描こう～」など7講座を「しえんねっと講座」として実施し、前年度を上回る77名の参加があった。(令和5年度:6講座32名)	参加者の満足度	合同講座の参加者満足度80%以上	82%	A	合同講座の参加者満足度80%以上	取組の継続	学習支援委員の得意分野を活かした「しえんねっと講座」を引き続き企画・開催し、生涯学習活動のきっかけづくりの場を提供する。	—	—	—	学習支援課	
			109	情報提供・環境整備	教養的なもの	024	生涯学習の相談体制の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習相談	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援 生涯学習情報を提供するほか、サークル結成・運営などの学習要望に対して助言する。	どなたでも	随時	-	市単独	—	窓口及び電話にて学習相談を実施し、内容に応じた生涯学習情報を提供した。	その他	相談体制の構築	開館日の窓口において随時実施	A	相談体制の構築	取組の継続	開館日において引き続き生涯学習相談を実施していく。	0	0
110	情報提供・環境整備	024	生涯学習の相談体制の充実	3-3		学びを活かせる生涯学習の推進	学習支援委員による相談	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援 青少年活動の応援、国際交流や伝統文化の普及、家庭教育、サークル・団体活動のサポート等、学習支援委員がそれぞれの得意分野を活かして、生涯学習活動に関する相談を受け、助言や情報提供を行う。	どなたでも	随時	-	市単独	どちらも実施	対面及びオンラインツールを用いた会議や講座の開催等さまざまな形で学習支援委員の得意分野を活かした学習支援を行った。	等事業の再構築・充実・拡大	学習相談の機会を増やす	対面に加えてオンラインツールも活用し、市民の学習活動を支援した。	A	学習相談の機会を増やす	取組の継続	学習支援委員と連携をとりながら、さまざまな形で市民の生涯学習活動を支援していく。	—	—	—	学習支援課	
111	情報提供・環境整備	教養的なもの	025	生涯学習機会の情報の発信	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	SNSによる生涯学習講座・イベント情報の発信	生涯学習活動のきっかけづくり及び支援 講座・イベント・フリースペースの情報について、FacebookとTwitterを通じて発信する。	どなたでも	随時	-	市単独	—	講座やフリースペースの開催状況について随時情報発信した。(Xフォロワー数2,094人)	その他	発信体制の構築	講座やフリースペースの開催状況を中心に、情報発信を行った。	A	発信体制の構築	取組の継続	講座やフリースペースの開催状況について随時情報を発信する。	0	0	0	学習支援課	
112	情報提供・環境整備		青少年育成・体験活動	025	生涯学習機会の情報の発信	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	イベントカレンダーによる情報発信	小中学生向けのイベント等の情報提供を分かりやすく行うことと、学習活動の場を広げる。 夏休み期間中に実施する小学生向けの事業を集約した小冊子「夏休みイベントカレンダー」など、学習情報を一元化して市民に分かりやすく情報提供する。	子ども	1	発行部数:750部、データ提供	市単独	—	令和5年度に引き続き、市ホームページやGIGAスクール端末への掲載によるデータでの提供を主とし、イベントの情報発信を行った。	普及・啓発等	分かりやすい情報の提供	紙面にイラスト等を使用し、分かりやすく情報を提供できた。	A	分かりやすい情報の提供	取組の継続	市内児童に分かりやすい情報の提供を行い、体験機会の充実を図る。	—	—	—	学習支援課
113			#N/A		#N/A																					
広報「はちおうじの教育」の発行（令和4年度で事業廃止）																										

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和6年度予算(千円)	令和6年度決算(千円)	令和7年度予算(千円)	令和6年度担当課(実施主体)
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和6年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
114	情報提供・環境整備	社会貢献活動	025生涯学習機会の情報の発信	1-1	市民自治の推進	はちコミねっと	市民活動の情報発信及び、活動内容の周知のために実施する。	どなたでも	通年	登録団体336団体	指定管理者	どちらも実施	令和5年度から毎年宣言書の提出・更新確認を義務付けている。未提出団体は一旦未登録扱いになり、登録団体数が激減するが、徐々に回復し、新規登録も近年増加傾向にあるため、結果的には目標値を超えた。	件参加者数・利用者数・利用者数・利用者数	登録団体数300団体	336団体	A	330団体	取組の継続	市民活動支援センターの機能、役割をもっと周知し、利用団体、登録団体を増やしていきたい。	1,463	1,463	1,463	協働推進課(市民活動支援センター)
115	情報提供・環境整備	教養的なもの	025生涯学習機会の情報の発信	1-1	市民自治の推進	市民センターだよりの発行	地域住民協議会が発行する情報誌を活用し、身近な地域情報を発信する。	どなたでも	38	199,910部	補助	対面実施	地域の実情により、発行部数に増減が見られる。結果昨年比微減(0.4%)となった。しかしながら、住民協議会の意向によりカラー印刷が増え、有効な情報発信源となっている。	普及・啓発等	18センターだよりの発行部数。令和5年度208,860部超	199,910部	A	18センターだよりの発行部数。前年度199,910部超	取組の継続	紙面の一層の充実を図り、身近な地域情報源として引き続き発行に取り組む。	1,418	1,072	1,418	協働推進課(住民協議会)
116	情報提供・環境整備	家庭生活	025生涯学習機会の情報の発信	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	消費生活情報の提供	消費者被害を未然に防止するため消費者被害に関する注意喚起と消費生活に関する情報提供を行う。 消費生活ニュース、くらしのレポート、広報消費生活特集号等を発行し、消費生活に関わる情報提供を行う。	どなたでも	①消費生活ニュース…6回 ②くらしのレポート…4回 ③広報特集記事…1回	①2,550部 ②2,000部 ③288,935部	市単独	—	・効果効率的な事務事業の見直しを行い、年12回から6回に変更した。ほかに即時発信が可能なSNSでの防犯防災メール等の効果的な活用も図った。 ・広報特集記事では相談件数が高止まりしている点検商法について注意喚起を行った。	普及・啓発等	引き続き、市民や関係機関等へのタイムリーな発信に努めていく	社会情勢を踏まえたタイムリーな情報発信ができた	A	広報特集記事を2回組み、消費者被害の防止に加えてエシカル消費の環境づくりについても周知を行う。	取組の継続	【課題】消費生活に関する情報を多くの市民に効果的に伝え、一人ひとりが消費者市民社会の実現に向けての意識を持つこと。 【方向】広報特集記事への掲載を年2回組み、消費者被害の防止、及びエシカル消費の啓発に努める。	0	0	0	消費生活センター
117	情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025生涯学習機会の情報の発信	2-2	誰もが生きがいを持ち安心できる地域づくり	外国人向け情報誌「Ginkgo」の発行	外国人のニーズに合わせた行政情報の提供の充実を目指し、年6回、多言語で、外国人向け情報誌を発行する。	外国人	6	延べ12,864部	市単独	—	例年通り、年6回の定期発行を実施できた。残数調査を実施した結果、特に英語と中国語の情報誌は必要とされることが改めて分かった。	実事・業拡の大再等構築・充実	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	内容の充実に努めた	A	掲載内容の充実を図るため、記事の収集に努める。	改善・見直しの実施	利用実績を踏まえ、令和7年度から、紙ベースの定期発行はやめて、Facebookやホームページで随時タイムリーな情報を発信するとともに、韓国語版とスペイン語版はやめて中国語版と英語版のみとする。	491	278	0	多文化共生推進課
118	情報提供・環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	025生涯学習機会の情報の発信	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	男女共同参画情報紙「ばれっと」の発行	男女共同参画に関する意識啓発 男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	どなたでも	1回	発行部数289,075部	市単独	対面実施	「ばれっと」の発行ではなく、広報はちおうじの特集ページで、「誰もが活躍できる社会を」家事や「育児」から考えてみませんか」をテーマに男女共同参画の理解を深める情報を提供した。	普及・啓発等	目標を達成するための手法を考え、実施する。	広報の特集ページで男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供した。	A	目標を達成するための手法を考え、実施する。	取組の継続	男女共同参画に関する認識や理解を深めるための情報を提供する。	0	0	0	男女共同参画課
119	情報提供・環境整備	教養的なもの	026生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	生涯学習センター	生涯学習活動の支援 地域住民にとって身近な学習拠点であるほか、交流の場、コミュニティ形成の場として、学習ニーズや地域の実情に応じた学習機会を提供する。	どなたでも	-	200,511人	市単独	対面実施	生涯学習センター3館を運営し、講座やフリースペースを実施した。	数参加者数・利用者数・利用者数	利用者数200,000人以上	200,511人	A	利用者数200,000人以上	取組の継続	様々な形で市民に学習機会を提供していく。	—	—	—	学習支援課
120	情報提供・環境整備	教養的なもの	026生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	学習室の貸し出し	団体・個人に学習室等を貸し出し、市民の自発的な生涯学習活動を支援する。	どなたでも	18,468件	-	市単独	対面実施	生涯学習センター3館を運営し、学習室等を貸し出すことにより市民の学習活動を支援した。	数参加者数・利用者数・利用者数	利用件数19,000件以上	18,468件	A	利用件数19,000件以上	取組の継続	学習室等を貸し出し、市民の学習活動を支援していく。	—	—	—	学習支援課

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン基本施策・施策の展開	未来デザイン2040都市像・基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値			令和6年度予算(千円)	令和6年度決算(千円)	令和7年度予算(千円)	令和6年度担当課(実施主体)
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標値	令和6年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由				
121	情報提供・環境整備	教養的なもの	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	フリースペース 生涯学習活動の支援、施設の有効活用 空き学習室を自習スペースとして開放し、学生の自主的な学習を支援するとともに、若い世代の施設利用を促進する。	若者	3館合計700日	16,647人	市単独	対面実施	3館合計で700日実施し、延べ16,647名の利用があった。(令和5年度:21,538名)令和6年度は川口分館の長期休館があったため利用者は前年度を下回ったが、生涯学習センターとしては継続的に学生に自習の場を提供することができた。	数参加者数・利用者数・利用件数	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	3館合計で700日実施	A	土・日・祝、平日夜間、学校長期休業期間に実施	取組の継続	引き続きフリースペースを実施し、学生の自主的な学習を支援していく。	0	0	0	学習支援課
122	その他	教養的なもの	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	自習スペースの開放 自主的な学習を支援するとともに、図書館利用を促進する。 中央図書館視聴覚ホールを未使用時に自習スペースとして開放する。	どなたでも	298回	13,928人	市単独	—	概ね開館日の91%の日数を自習室として開放した。土日等の混雑時に他の空き会議室を転用することで需要に応えた。また、利用者は取っていないが、夏休み期間等に若年層をターゲットとしたフリースペース内に自習スペースを設け、より自由に使える空間づくりに取り組んだ。	参加者数・利用者数・利用件数等	前年度(14,481人)を上回る利用者数	13,928人	A	前年度(13,928人)を上回る利用者数	取組の継続	引き続き実施し、市民の生涯学習活動を支援していく。	—	—	—	図書館課
123	その他	教養的なもの	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	地区図書室の図書館化 身近な読書環境を整備し、市民が読書に親しむ基盤を強化にする。 身近な読書環境の整備のため、地区図書室を図書館として整備する。	どなたでも	—	—	市単独	—	市全体における図書館の施設適正化方針の中で整理していく。	その他	図書館の施設適正化方針での整理	地区図書室での開き取り内容等を踏まえ、図書館課内及び庁内での調整を進めた。	A	図書館設置・運営基本方針での整理	取組の継続	利用者の低減や地域の担い手の不足、DXの推進などを踏まえ、図書館の施設適正化方針の中で整理していく。	—	—	—	図書館課
124	情報提供・環境整備	教養的なもの	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供	1-1	市民自治の推進	八王子駅南口集いの拠点整備 学び・交流・防災の3つの機能を備えたサードプレイスとなる複合機能施設の整備 八王子医療刑務所跡地に整備する公園、歴史・郷土ミュージアム(新郷土資料館)とともに、学習・交流機能を持つ交流スペースや図書館機能を持つ憩いライブラリを整備する。	—	—	—	共催	—	R5に引き続き、開館に向けてPFI事業者と協議	その他	PFI事業者と協議	PFI事業者と協議	A	PFI事業者と協議	取組の継続	引き続き、開館に向けてPFI事業者と協議	—	—	—	集いの拠点整備課
125	その他	社会問題・市民生活に関すること	026 生涯学習環境の充実と活動の場の提供	3-1	全ての子どもが健やかに育つ地域づくり	若者の活動拠点づくり 若者が地域で生き生きと活躍できる場を提供し、社会的な自立に向けた支援を行う。 既存施設にあり方の見直しにより高校生や大学生などをはじめとする若者の活動の場としての機能を持たせるなど、生き生きと活躍できる若者の拠点づくりを進める。	若者	2	10	委託	対面実施	・夏休み期間中に、若者総合相談センターにおいて未登録者も対象としたイベントを実施。 ・はちびバ主催行事に若者総合相談センター利用者が参加。地域の大人との交流機会となった。	その他	10歳代が参加しやすいプログラム活動等を行う。	実施できた。	A	2回実施	取組の継続	単独開催だと集客に苦戦するため、他の支援機関との連携により実施することで、当センターを効果的に周知していく予定。	28,759	28,759	28,759	青少年若者課
126	その他	社会問題・市民生活に関すること	027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	施設内のサイン計画改善 障害があることの社会的障壁の排除 言語や障害に左右されず、施設内を不自由なく使用できるように表示を改善する。	どなたでも	-	-	市単独	—	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例についてのパンフレットやチラシをいちょう祭り等で配付し、障害理解や合理的配慮に係る周知啓発を実施した。	その他	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める。	庁内関連施設・いちょう祭りにおいて配布	A	庁内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める。 いちょう祭りにおける事業実施の在り方や、別の周知方法について検討する。	改善・見直しの実施	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発を推進していく。 令和8年度以後の新たな形での周知啓発の取り組みについて検討する。	—	—	—	障害者福祉課

【基本施策3】(番号108～129、21事業)

番号	種類	分野	生涯学習プラン 基本施策・ 施策の展開	未来デザイン2040 都市像・ 基本施策	事業名	事業目的	令和6年度 実績						令和6年度の目標および評価				令和7年度目標値				令和 6年度 予算 (千円)	令和 6年度 決算 (千円)	令和 7年度 予算 (千円)	令和6年度 担当課 (実施主体)
							対象者	回数	参加者数(人)等	実施形態	実施方法	令和6年度の実施状況や昨年度との比較・変更点、参加者の声	指標評価	令和6年度目標値	目標値に対する実績値	評価	令和7年度目標値	方向性	令和7年度の課題と方向 廃止・休止の場合はその理由					
127	情報提供・ 環境整備	社会問題・市民生活に関するもの	027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	学習支援のための託児	子育て中の市民等の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、特に女性の社会参画の促進を図る。	どなたでも	169回	利用保護者数235人	市単独	対面実施	子育て中の市民(女性)の学習活動の支援を行った。	数・参加者数・利用者数・利用件数	利用保護者182人	利用保護者数235人	A	利用保護者数200人	取組の継続	子育て中の市民の学習支援として、満1歳～未就学児の託児サービスを提供し、女性の社会参画の促進を図る。	4,115	4,300	4,378	男女共同参画課
128	その他	社会問題・市民生活に関するもの	027 誰もが生涯学習へ参加しやすい環境づくり	2-1	誰もが心豊かに暮らせる市民生活の推進	障害者の参加を促す環境整備	障害のある方の社会的弱者としての配慮 障害者が講座等への参加に必要な介助者や手話通訳者の受講料を無料とするほか、車いす使用者用の机や拡大資料を提供し、障害者が参加しやすい環境を整備する。	どなたでも	—	—	市単独	—	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例についてのパンフレットやチラシをいちよう祭り等で配付し、障害理解や合理的配慮に係る周知啓発を実施した。	その他	市内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める。	市内関連施設・いちよう祭りにおいて配布	A	市内関連施設だけでなく、八王子にある民間企業へも周知啓発を進める。 いちよう祭りにおける事業実施の在り方や、別の周知方法について検討する。	改善・見直しの実施	障害のある人もない人も共に安心して暮らせる八王子づくり条例の周知啓発を推進していく。令和8年度以後の新たな形での周知啓発の取り組みについて検討する。	—	—	—	障害者福祉課
129	その他	情報端末・インターネットに関するもの	028 ICTを活用した生涯学習機会の充実	3-3	学びを活かせる生涯学習の推進	ICTの活用	電子書籍の拡充やホームページの充実等、非来館型サービスの充実により「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめる環境づくりや、本市のDX施策の推進を目指す。 図書館における、電子書籍の拡充、ホームページ等による情報発信の充実を図る。	どなたでも	—	【電子書籍貸出数】50,557回 【タイトル数】17,813点(うち読み放題コンテンツ(書籍)501点) 【閲覧数】270,713回	市単独	オンライン実施	電子書籍サービスを継続し、身近な読書環境の整備に努めた。読み放題パックの拡充を図り、学校の朝読書などのニーズにこたえた。	等参加者数・利用者数・利用件数	令和5年度の【電子書籍貸出数】52,390回 【閲覧数】299,600回を超える。	【電子書籍貸出数】50,557回 【タイトル数】17,813点(うち読み放題コンテンツ(書籍)501点) 【閲覧数】270,713回	A	令和6年度実績【電子書籍貸出数】50,557回、【閲覧数】270,713回を上回る利用	取組の継続	ホームページ等、また、学校図書館との連携を通じ、電子書籍利用のPRに努め、利用促進を図る。	7,000	6,923	7,000	図書館課